

宮津市男女共同参画・女性活躍推進 等に関する市民意識調査結果報告書

2017(平成 29)年 1 月
宮津市

目 次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	項目	1
3	調査対象	1
4	調査期間	1
5	調査の方法	1
6	回収結果	1
II	市民アンケートの結果	2
1	基本情報	2
2	男女共同参画社会に関する意識	7
3	仕事・就業に関する意識	28
4	地域活動に関する意識	36
5	家庭生活等に関する意識	38
6	セクシュアル・ハラスメント、DVに関する意識	41
7	学校教育に関する意識	44
8	防災対策に関する意識	45
9	政策に関する意識	46
III	「その他」項目への回答	47
IV	自由回答	51
V	調査票	57

I 調査概要

- 1 調査の目的 市民の男女共同参画及び女性活躍推進等に対する意識を把握し、今後策定する「宮津市男女共同参画基本計画」の検討資料とすることを目的とします。
- 2 項目
 - (1) 基本情報
 - (2) 男女共同参画社会に関する意識
 - (3) 仕事・就業に関する意識
 - (4) 地域活動に関する意識
 - (5) 家庭生活等に関する意識
 - (6) セクシュアル・ハラスメント、DVに関する意識
 - (7) 学校教育に関する意識
 - (8) 防災対策に関する意識
 - (9) 政策に関する意識

合計 28 項目
- 3 調査対象 宮津市に在住する 16 歳以上の市民から、2,000 人を年代別、男女別に無作為に抽出
- 4 調査期間 平成 28 年 9 月 5 日から平成 28 年 9 月 30 日まで
- 5 調査の方法 郵送配布・郵送回収
- 6 回収結果 有効回収数：625 件（有効回収率 31.3%）

性・年齢		配布数 (件)	回収数 (件)	回収率 (%)	性・年齢		配布数 (件)	回収数 (件)	回収率 (%)
男 性	16～19 歳	45	6	13.3	女 性	16～19 歳	48	13	27.1
	20～29 歳	165	28	17.0		20～29 歳	137	35	25.5
	30～39 歳	169	27	16.0		30～39 歳	151	53	35.1
	40～49 歳	184	40	21.7		40～49 歳	177	62	35.0
	50～59 歳	130	43	33.1		50～59 歳	128	55	43.0
	60～69 歳	92	32	34.8		60～69 歳	94	41	43.6
	70 歳以上	186	67	36.0		70 歳以上	294	95	32.3
計		971	243	25.0	計		1,029	354	34.4

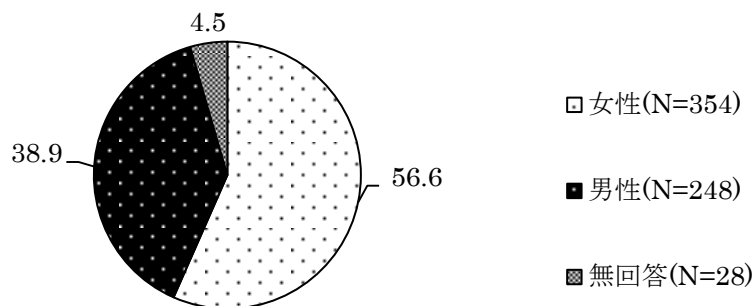
※上記に加え、性別無回答者 28 件（内訳：年齢 70 歳以上 4 件、年齢無回答者 24 件）

Ⅱ 市民アンケートの結果

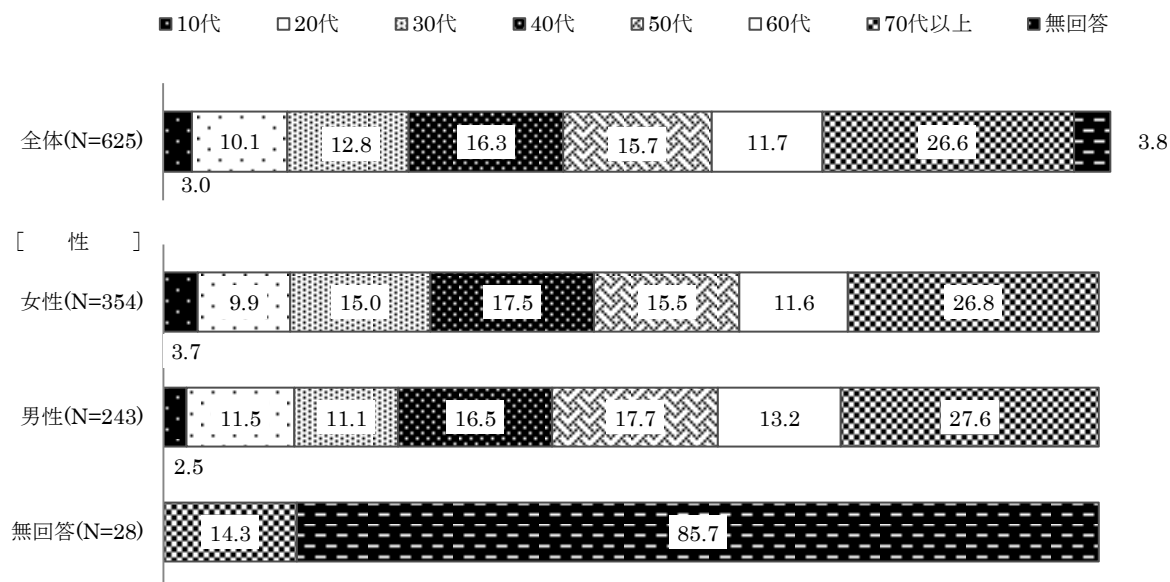
「国」と記載のあるデータについては、平成28年9月に内閣府が実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」報告書から引用しています。

1 基本情報

(1) 性別



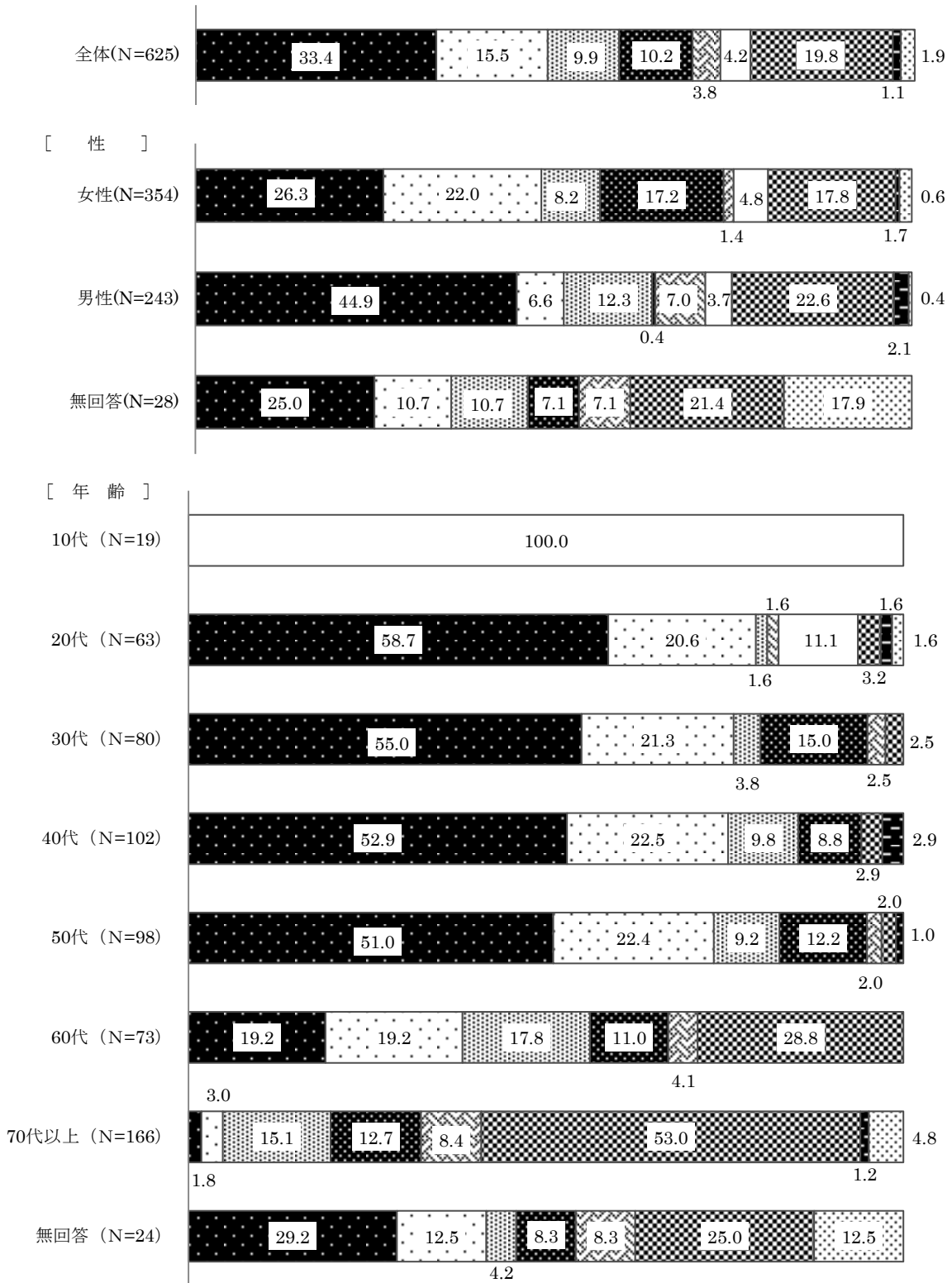
(2) 年齢



	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
全体	3.0%	10.1%	12.8%	16.3%	15.7%	11.7%	26.6%	3.8%	100.0%
	19人	63人	80人	102人	98人	73人	166人	24人	625人
女性	3.7%	9.9%	15.0%	17.5%	15.5%	11.6%	26.6%	0%	100.0%
	13人	35人	53人	62人	55人	42人	95人	0人	354人
男性	2.5%	11.5%	11.1%	16.5%	17.7%	13.2%	27.6%	0%	100.0%
	6人	28人	27人	40人	43人	31人	67人	0人	243人
無回答	0%	0%	0%	0%	0%	0%	14.3%	85.7%	100.0%
	0人	0人	0人	0人	0人	0人	4人	24人	28人

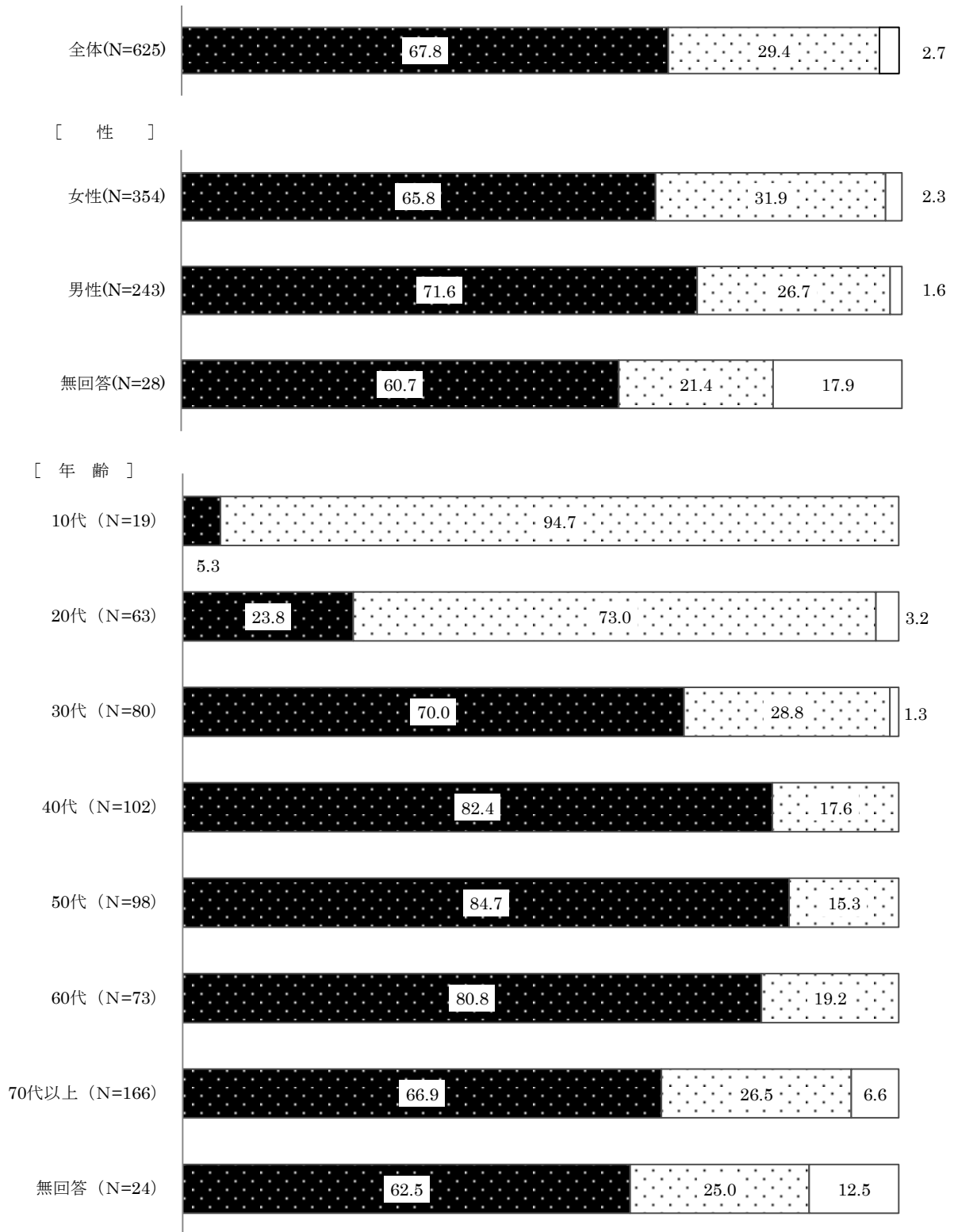
(3) 職業

■正社員 □パート・アルバイト ▨自営業 ■専業主婦・主夫 ▨農林漁業 □学生 ■無職 ■その他 □無回答



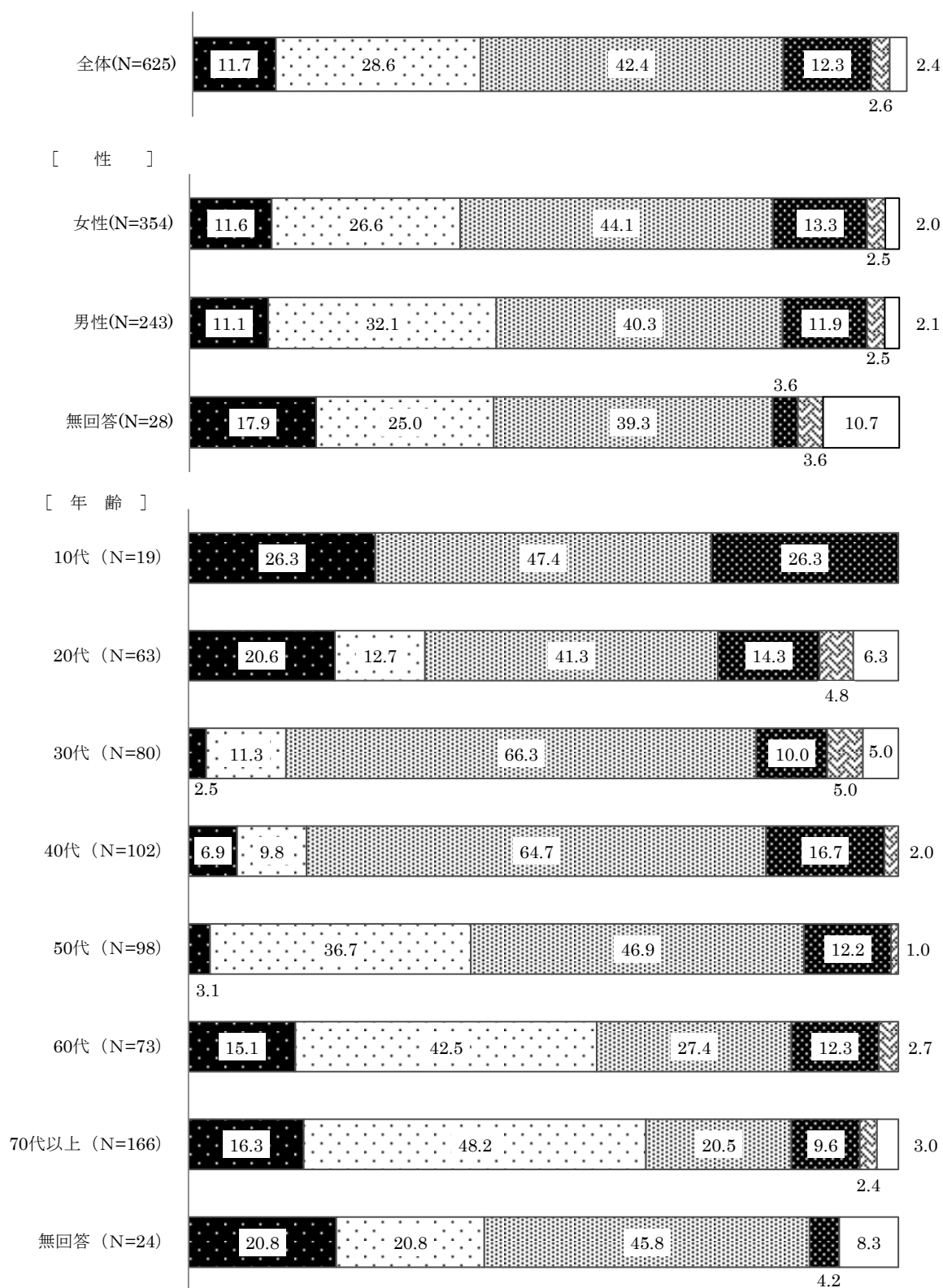
(4) 婚姻状況

■結婚している(内縁・事実婚、パートナーを含む) □結婚していない(離別・死別を含む) □無回答

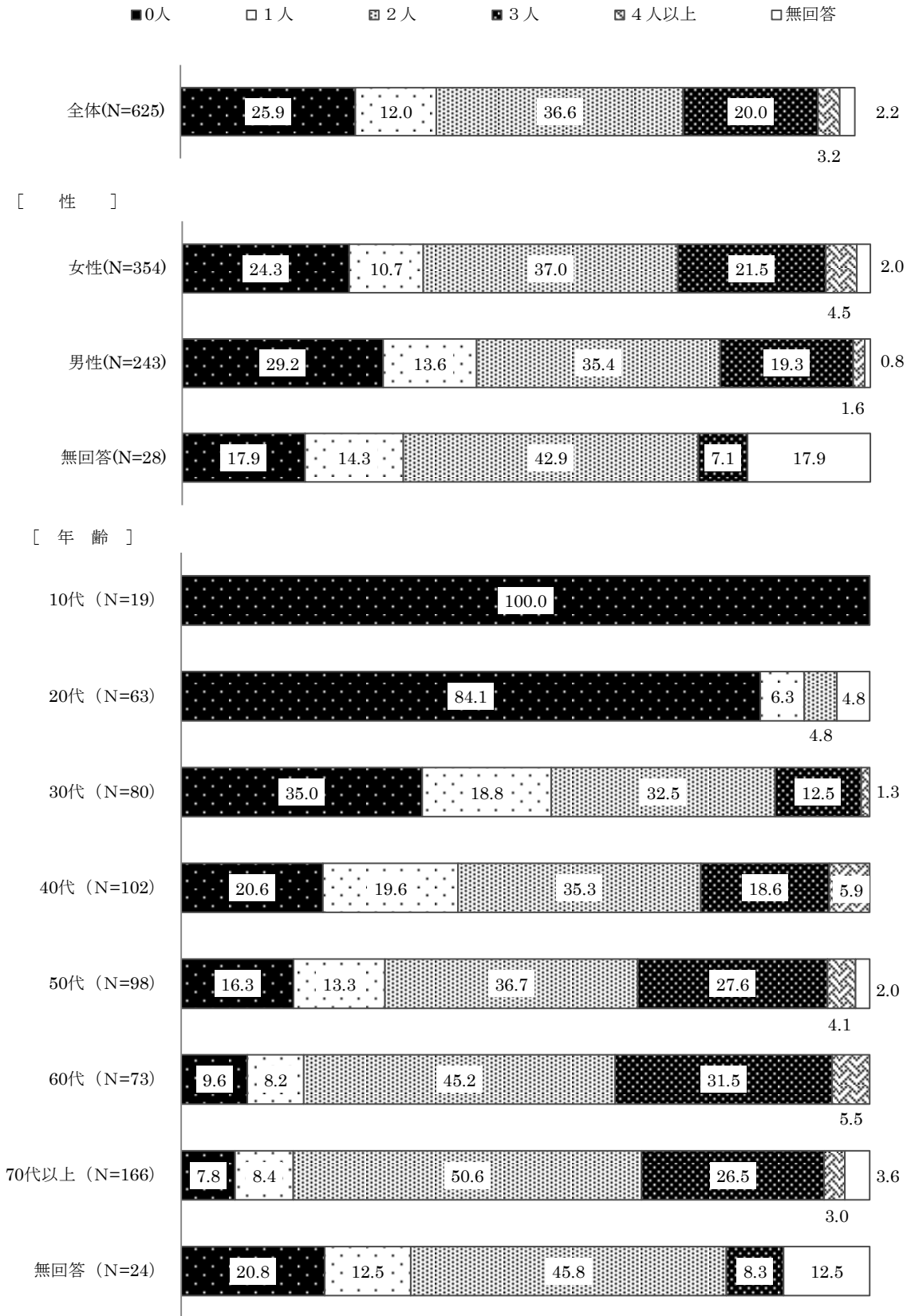


(5) 家族構成

■一人暮らし □夫婦 ▨親子 ■親と子と孫 ▩その他 □無回答



(6) 子どもの人数



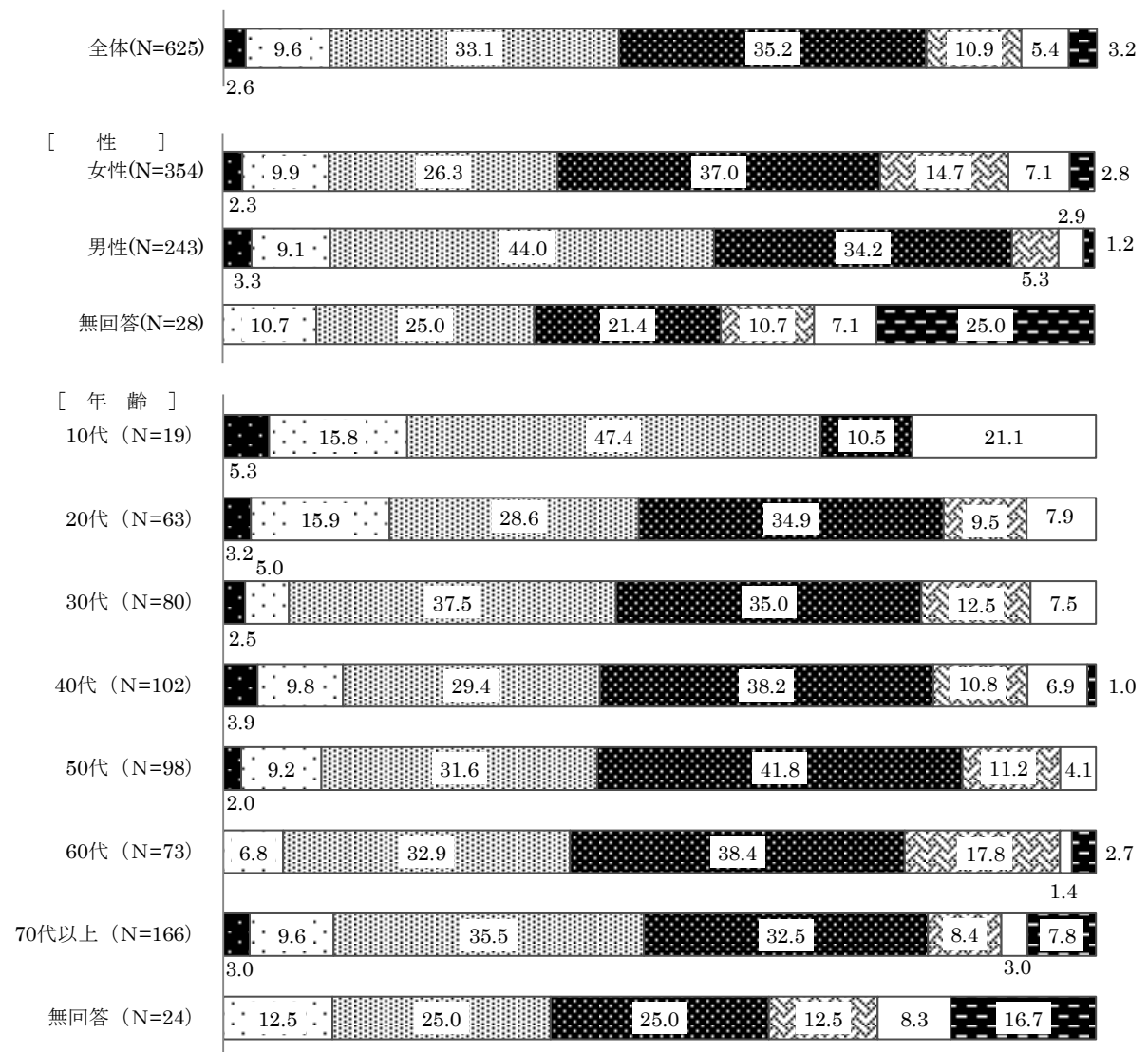
2 男女共同参画社会に関する意識

問1 あなたは次の①～⑧で、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近いものをお答えください。(各項目は、あてはまるもの1つだけ○)

(1) 家庭生活

	(宮津市)	(国)
・男性の方が優遇されている (小計)	46.1%	43.4%
・男性の方が(非常に)優遇されている	10.9%	7.8%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	35.2%	35.7%
・平等	33.1%	47.4%
・女性の方が優遇されている (小計)	12.2%	6.8%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	9.6%	5.9%
・女性の方が(非常に)優遇されている	2.6%	0.8%

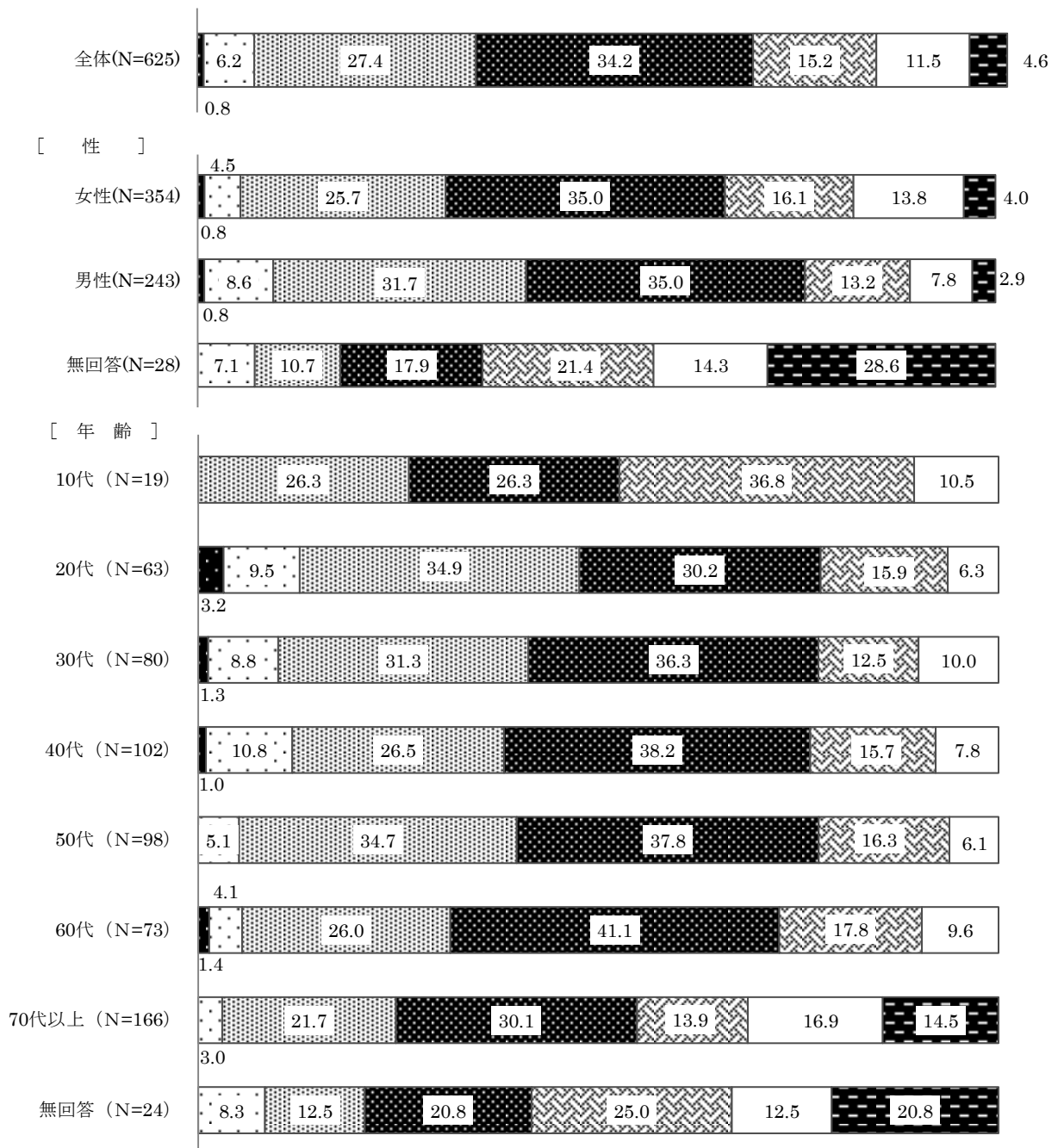
■女性 □どちらかといえば女性 ▨平等 ■どちらかといえば男性 ▩男性 □わからない ■無回答



(2) 職場

	(宮津市)	(国)
• 男性の方が優遇されている (小計)	49.4%	56.6%
• 男性の方が(非常に)優遇されている	15.2%	15.1%
• どちらかといえば男性の方が優遇されている	34.2%	41.5%
• 平等	27.4%	29.7%
• 女性の方が優遇されている (小計)	7.0%	4.7%
• どちらかといえば女性の方が優遇されている	6.2%	4.1%
• 女性の方が(非常に)優遇されている	0.8%	0.6%

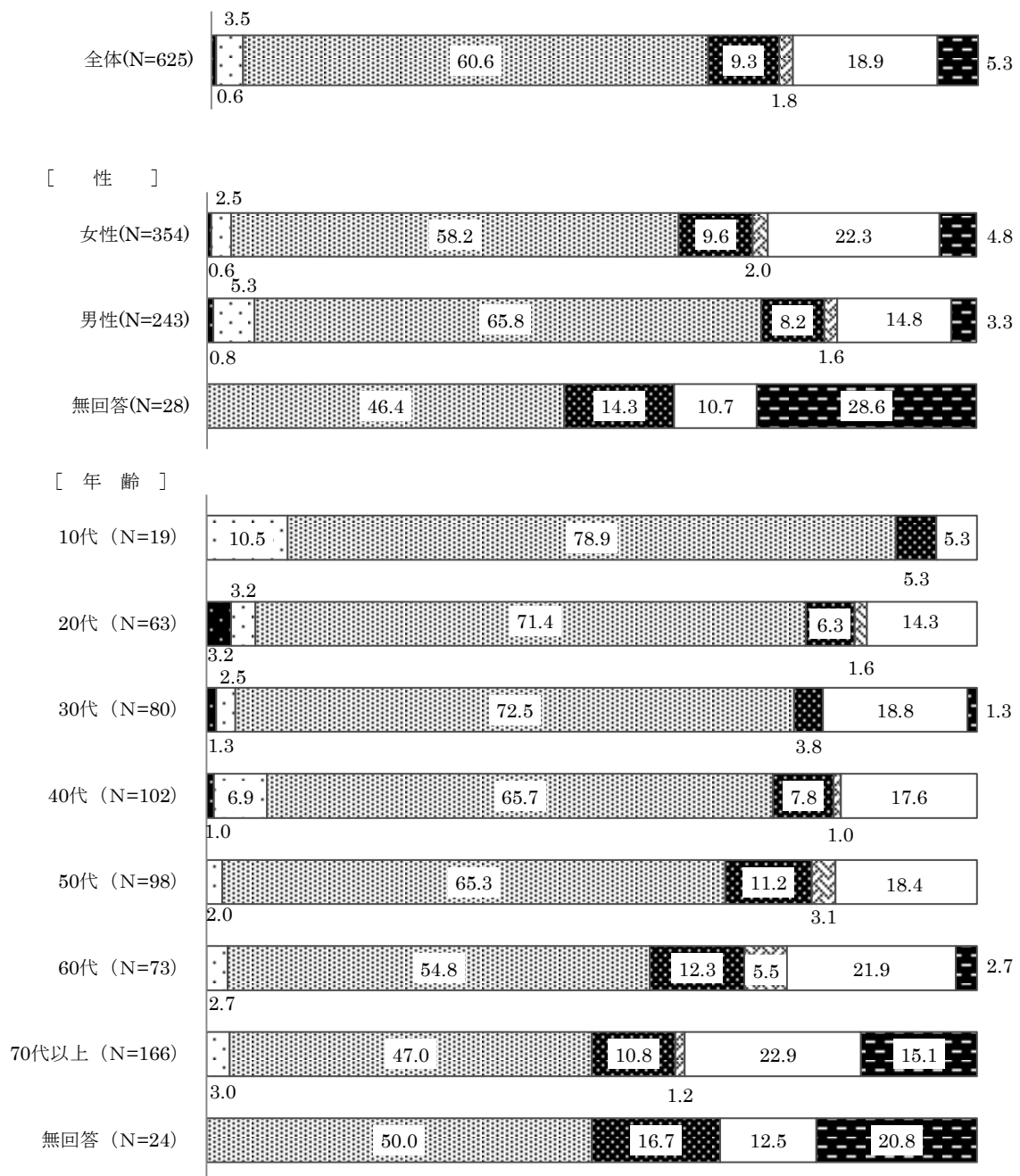
■ 女性 □ どちらかといえば女性 ▨ 平等 ■ どちらかといえば男性 ▩ 男性 □ わからない ■ 無回答



(3) 学校教育の場

	(宮津市)	(国)
・男性の方が優遇されている (小計)	11.0%	16.0%
・男性の方が(非常に)優遇されている	1.8%	2.5%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	9.3%	13.5%
・平等	60.6%	66.4%
・女性の方が優遇されている (小計)	4.2%	3.2%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	3.5%	2.9%
・女性の方が(非常に)優遇されている	0.6%	0.3%

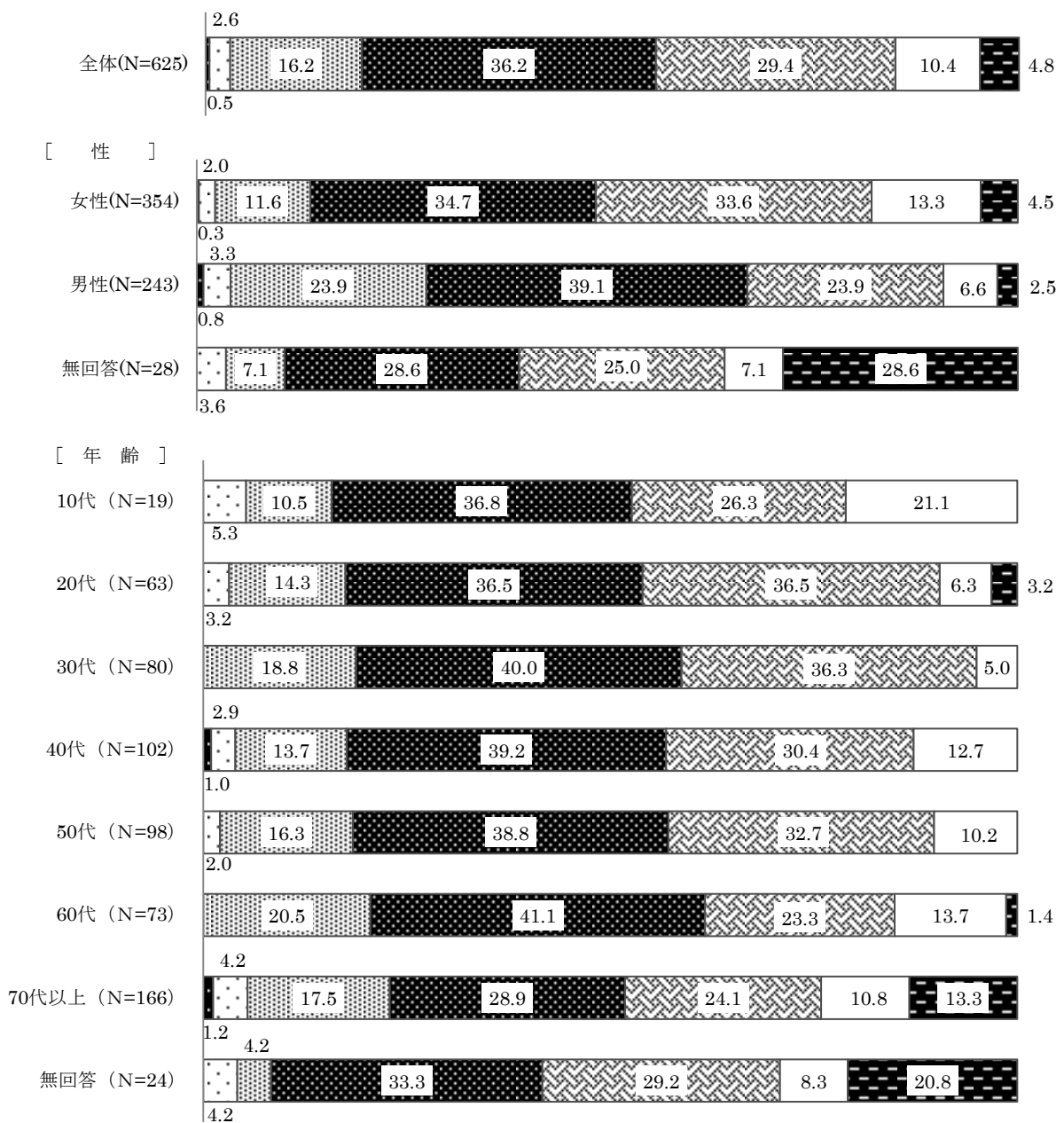
■女性 □どちらかといえば女性 ▨平等 ■どちらかといえば男性 ▩男性 □わからない ■無回答



(4) 政治の場

	(宮津市)	(国)
• 男性の方が優遇されている (小計)	65.6%	73.5%
• 男性の方が(非常に)優遇されている	29.4%	27.1%
• どちらかといえば男性の方が優遇されている	36.2%	46.3%
• 平等	16.2%	18.9%
• 女性の方が優遇されている (小計)	3.0%	2.3%
• どちらかといえば女性の方が優遇されている	2.6%	2.0%
• 女性の方が(非常に)優遇されている	0.5%	0.3%

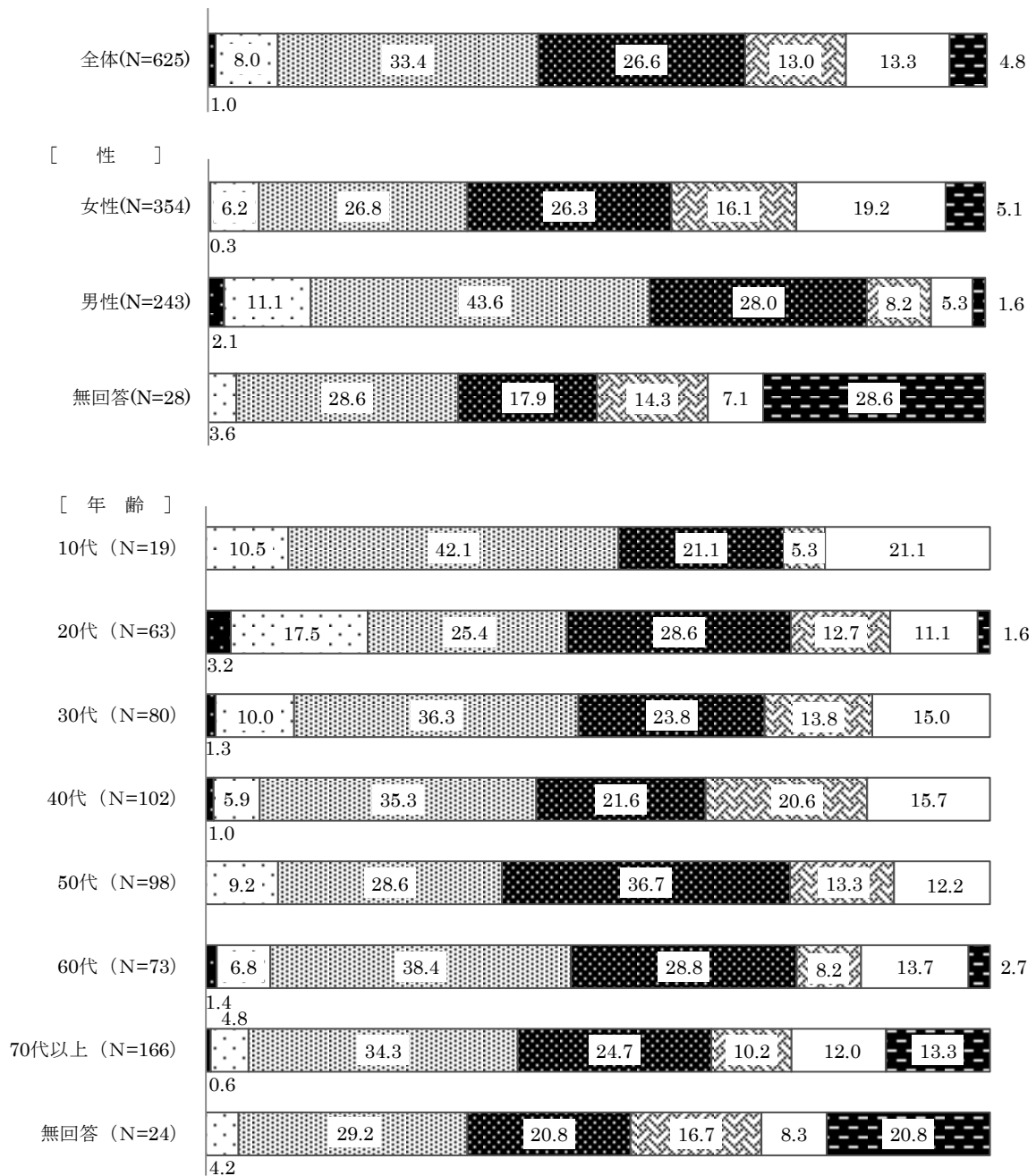
■女性 □どちらかといえば女性 ▨平等 ■どちらかといえば男性 ▩男性 □わからない ■無回答



(5) 法律や制度の上

	(宮津市)	(国)
・男性の方が優遇されている (小計)	39.5%	45.2%
・男性の方が(非常に)優遇されている	13.0%	10.6%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	26.6%	34.7%
・平等	33.4%	40.8%
・女性の方が優遇されている (小計)	9.0%	5.7%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	8.0%	5.0%
・女性の方が(非常に)優遇されている	1.0%	0.7%

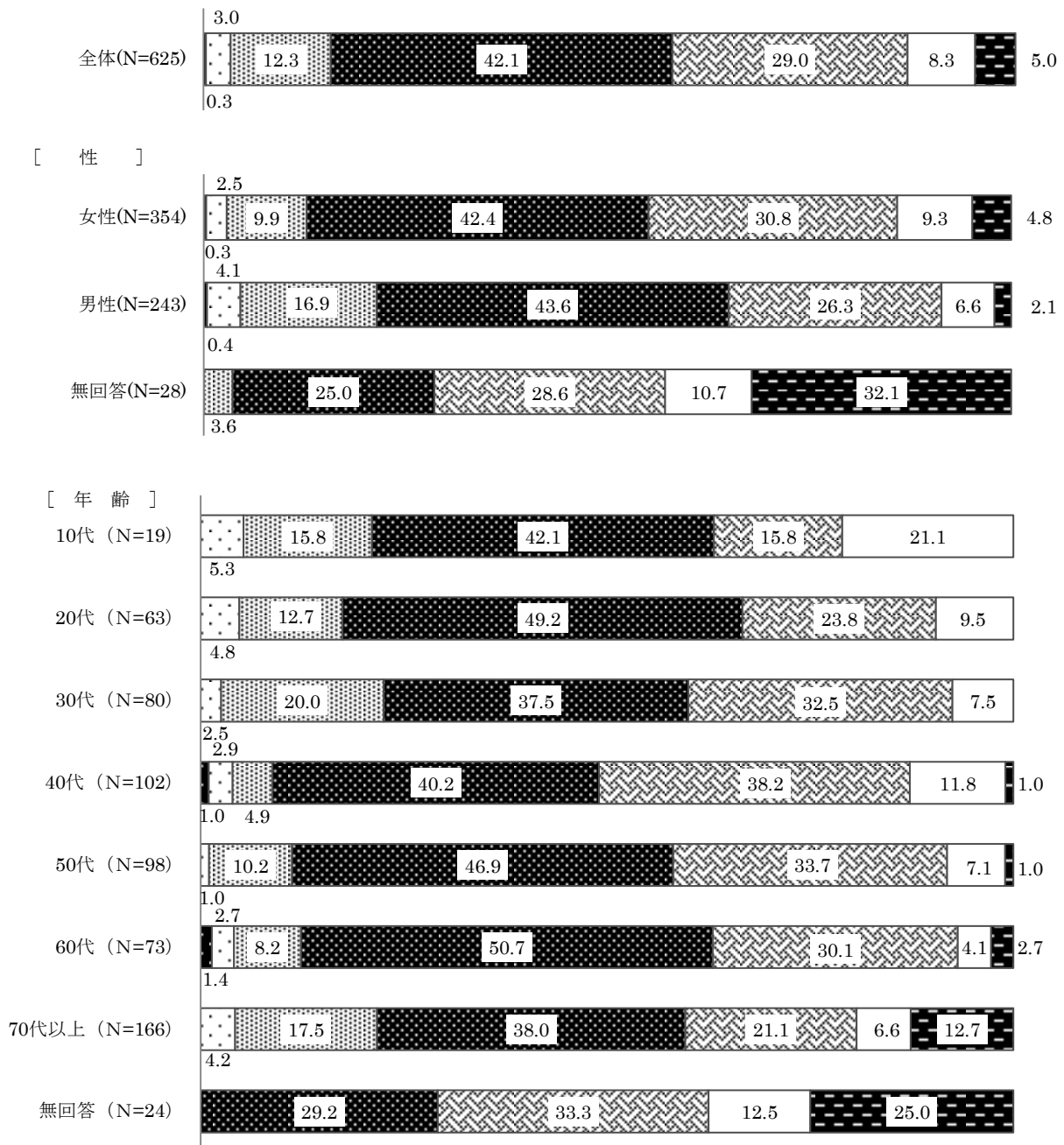
■女性 □どちらかといえば女性 ▨平等 ■どちらかといえば男性 ▩男性 □わからない ■無回答



(6) 社会通念・慣習・しきたり等

	(宮津市)	(国)
・男性の方が優遇されている (小計)	71.0%	70.4%
・男性の方が(非常に)優遇されている	29.0%	17.6%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	42.1%	52.8%
・平等	12.3%	21.8%
・女性の方が優遇されている (小計)	3.4%	3.2%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	3.0%	2.8%
・女性の方が(非常に)優遇されている	0.3%	0.4%

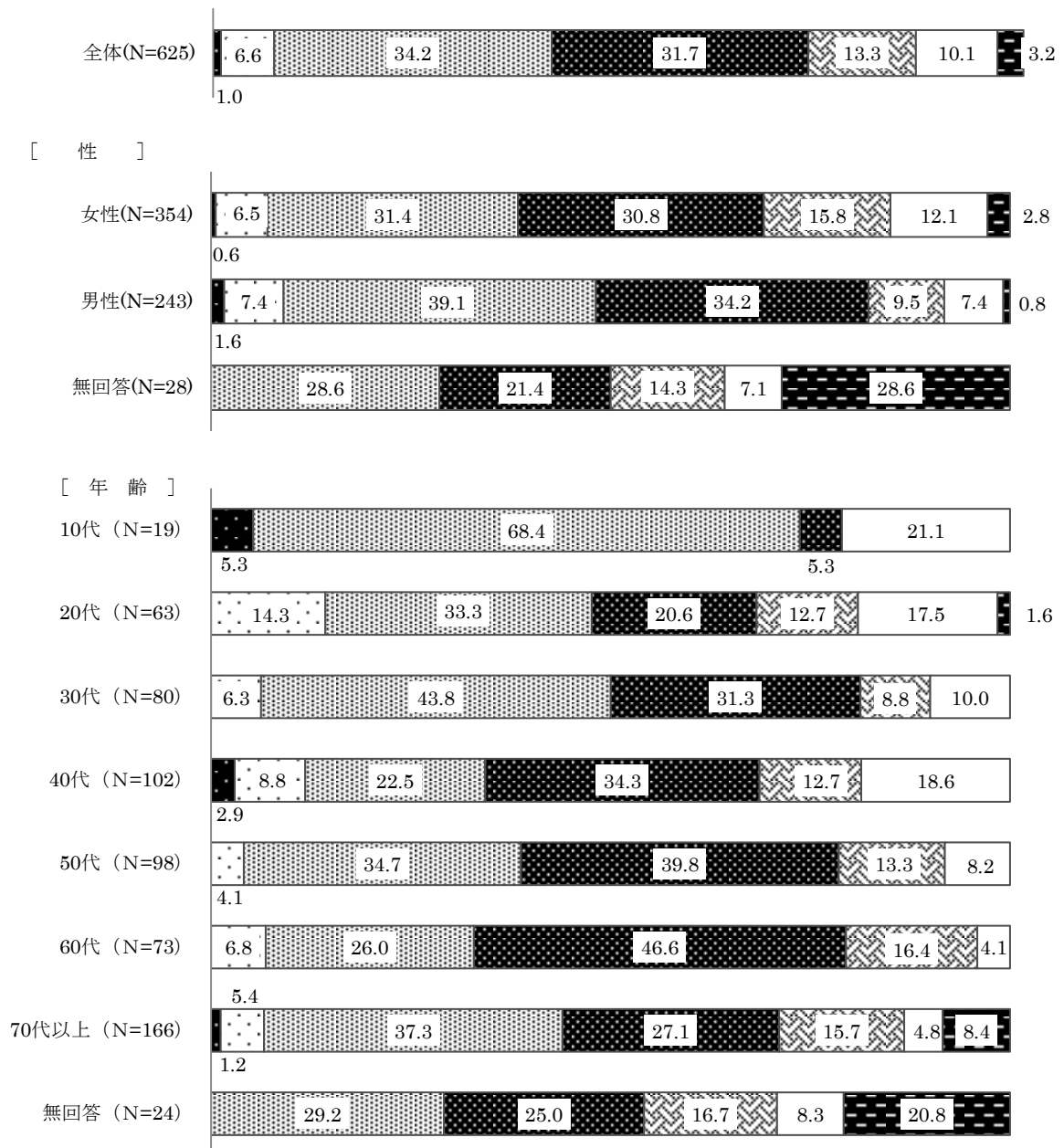
■女性 □どちらかといえば女性 ▣平等 ■どちらかといえば男性 ▤男性 □わからない ■無回答



(7) 地域活動の場

	(宮津市)	(国)
・男性の方が優遇されている (小計)	45.0%	33.5%
・男性の方が(非常に)優遇されている	13.3%	6.8%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	31.7%	26.7%
・平等	34.2%	47.2%
・女性の方が優遇されている (小計)	7.5%	11.8%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	6.6%	10.5%
・女性の方が(非常に)優遇されている	1.0%	1.3%

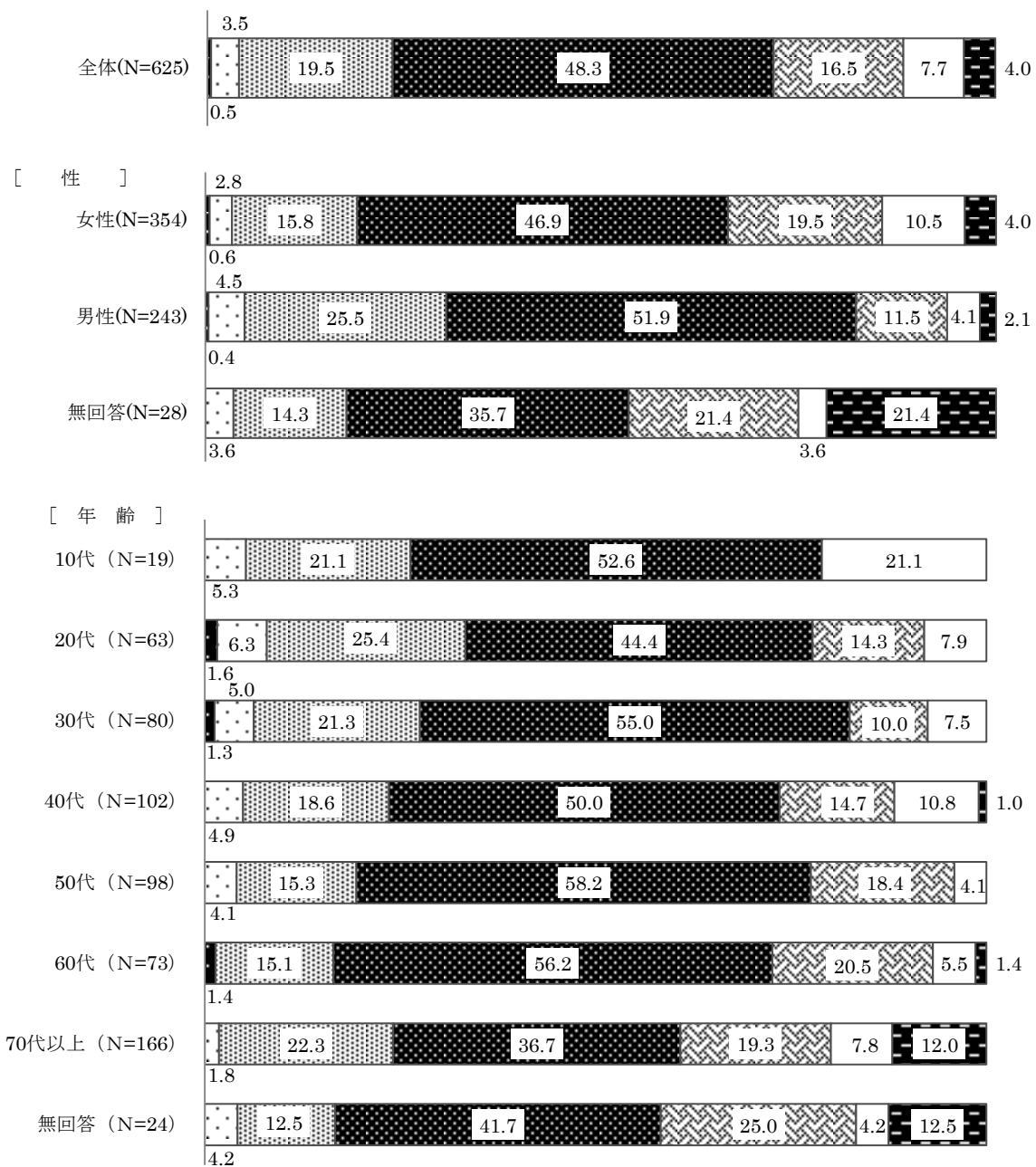
■女性 □どちらかといえば女性 ▨平等 ■どちらかといえば男性 ▩男性 □わからない ■無回答



(8) 社会全体

	(宮津市)	(国)
・男性の方が優遇されている (小計)	64.8%	74.2%
・男性の方が(非常に)優遇されている	16.5%	9.7%
・どちらかといえば男性の方が優遇されている	48.3%	64.5%
・平等	19.5%	21.1%
・女性の方が優遇されている (小計)	4.0%	3.0%
・どちらかといえば女性の方が優遇されている	3.5%	2.8%
・女性の方が(非常に)優遇されている	0.5%	0.2%

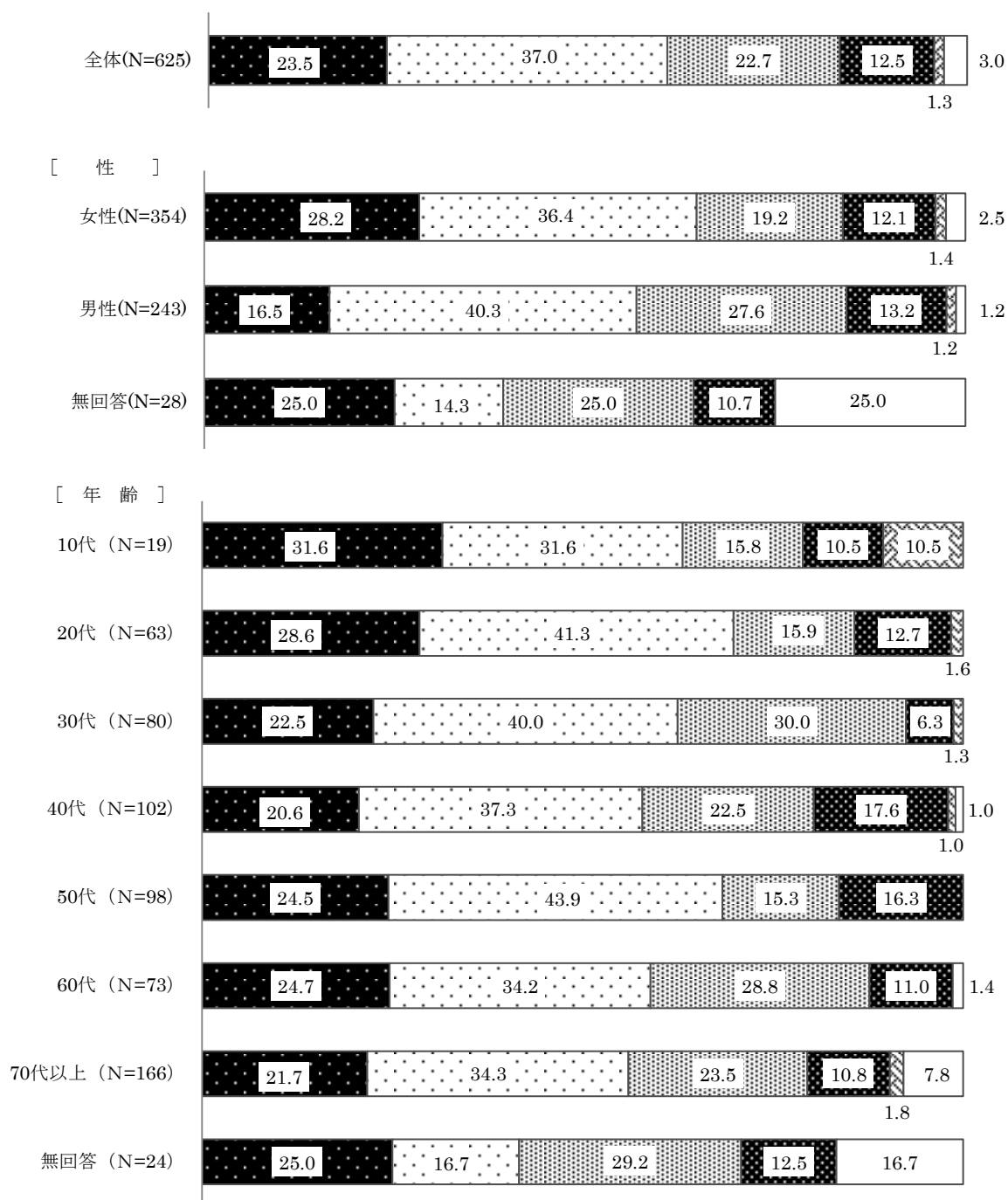
■女性 □どちらかといえば女性 ▨平等 ■どちらかといえば男性 ▩男性 □わからない ■無回答



問2 あなたは次の①～⑥について、どのように思いますか。(各項目は、あてはまるもの1つだけ)

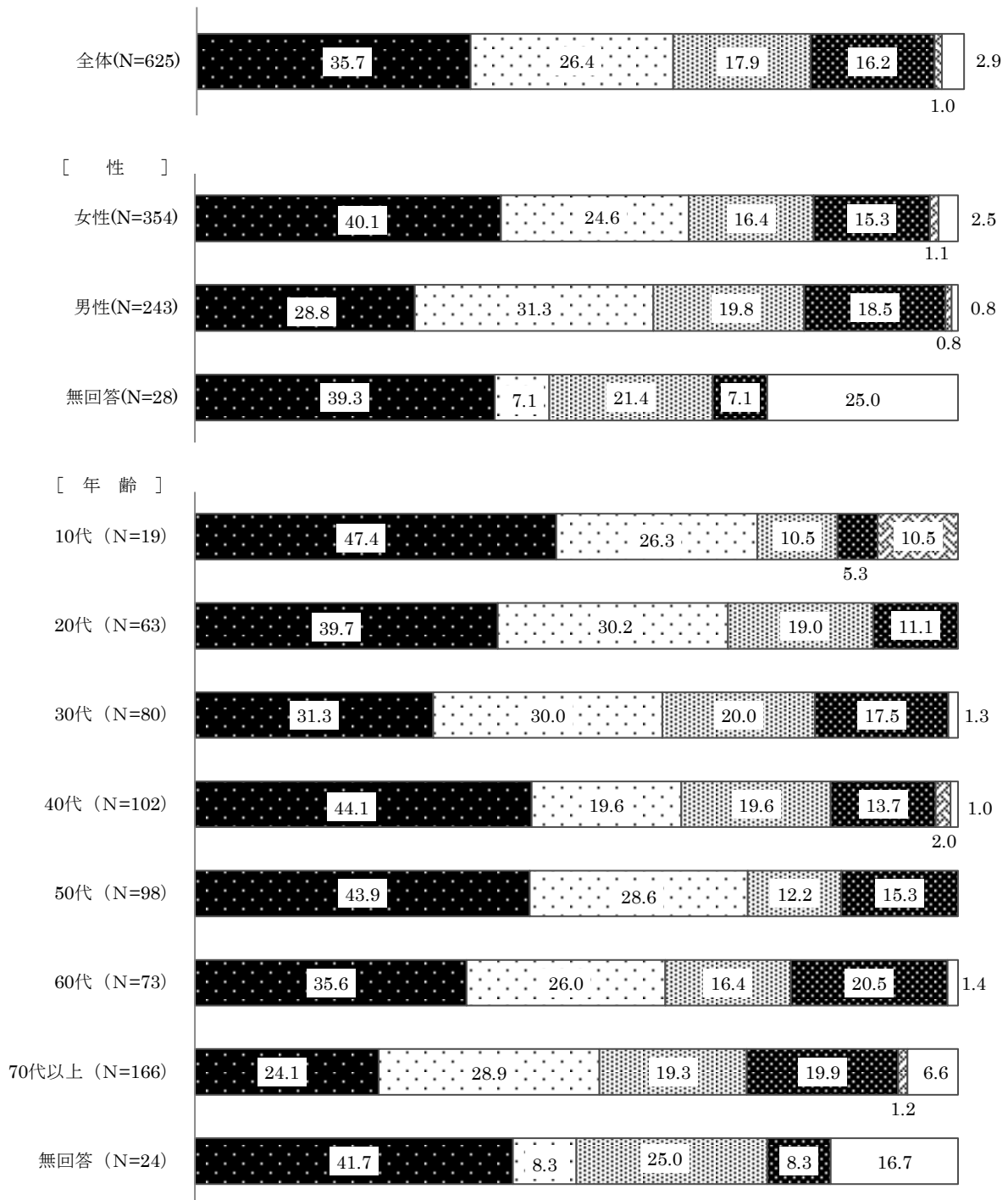
(1) 「女(男)だから」といった言い方、考え方

■ 抵抗を感じる □ 少し抵抗を感じる ▨ 抵抗を感じない ■ どちらともいえない ▩ わからない □ 無回答



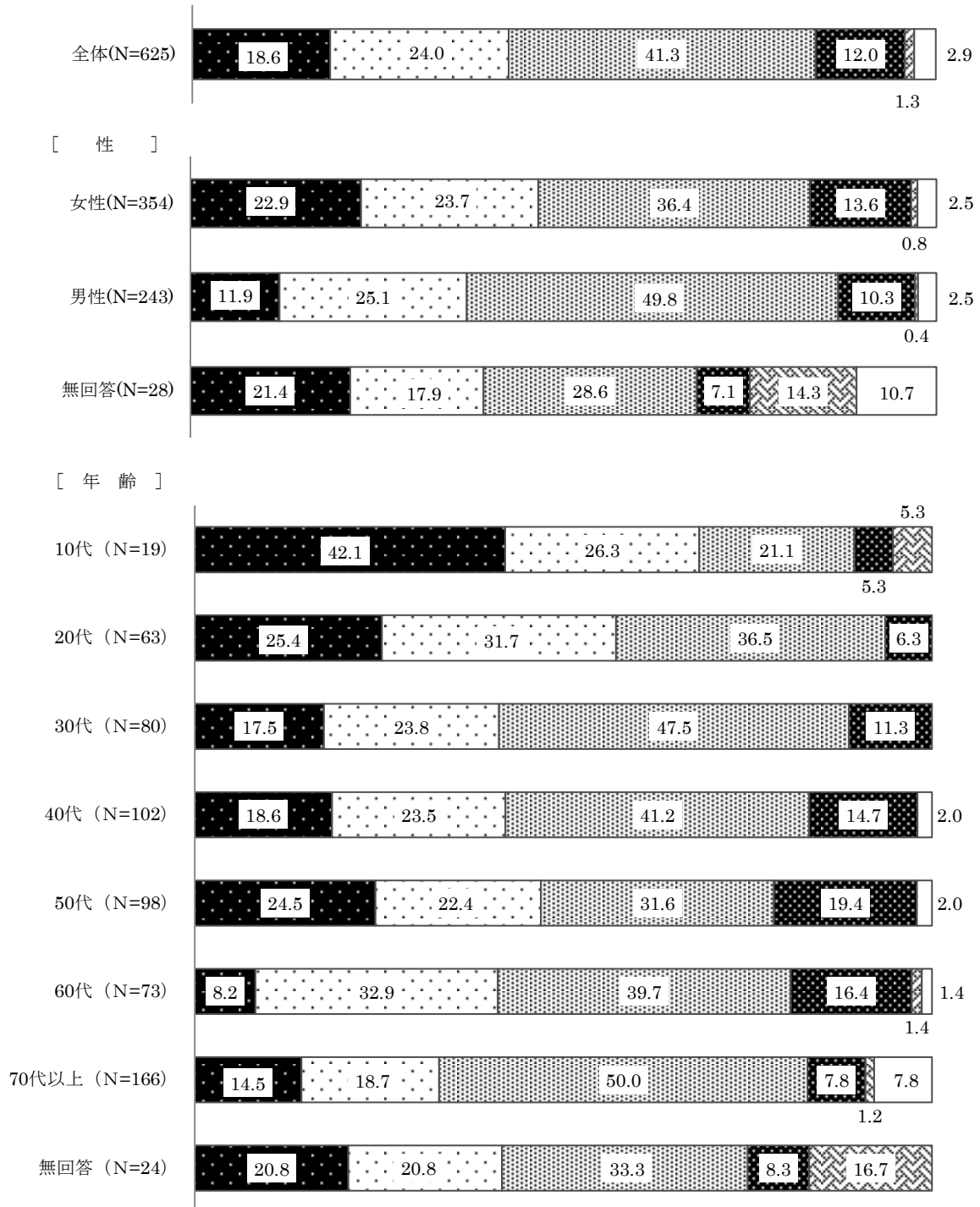
(2) 「男は仕事、女は家庭」といった考え方

■ 抵抗を感じる □ 少し抵抗を感じる ▨ 抵抗を感じない ■ どちらともいえない ▩ わからない □ 無回答



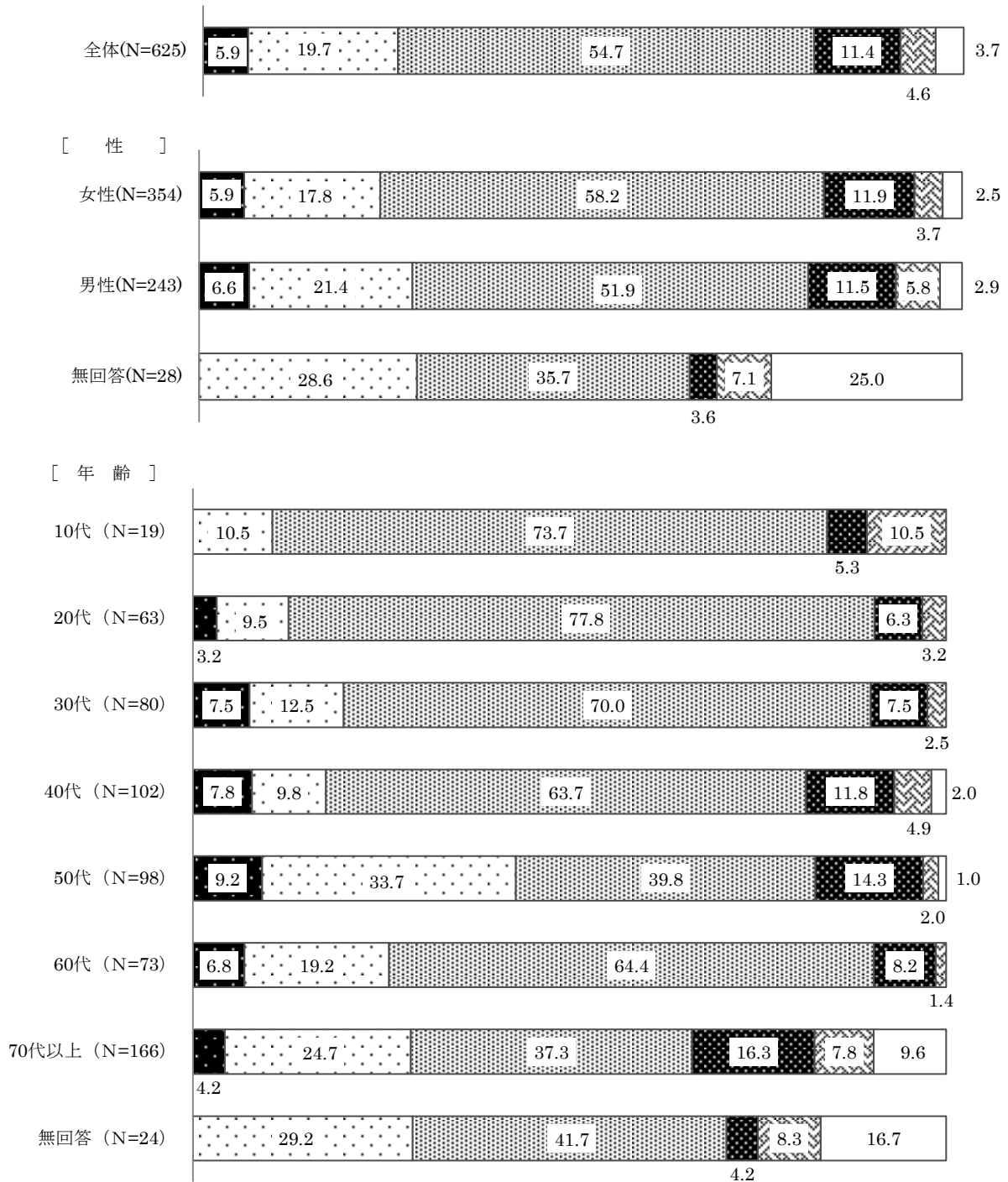
(3) 女の子は「女らしく」、男の子は「男らしく」といった考え方

■ 抵抗を感じる □ 少し抵抗を感じる ▨ 抵抗を感じない ■ どちらともいえない ▩ わからない □ 無回答



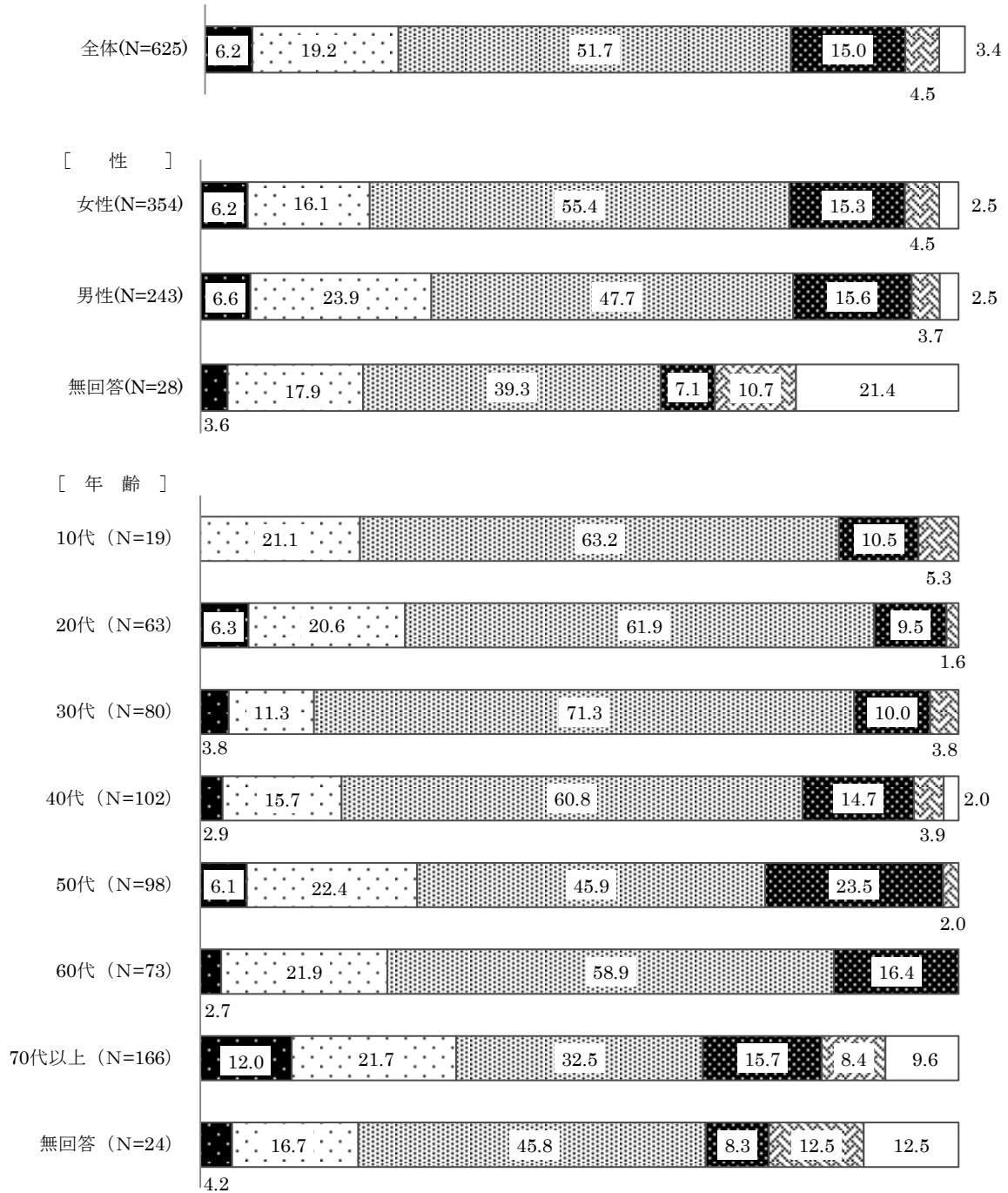
(4) 育児休暇、介護休暇をとる男性

■ 抵抗を感じる □ 少し抵抗を感じる ▨ 抵抗を感じない ■ どちらともいえない ▩ わからない □ 無回答

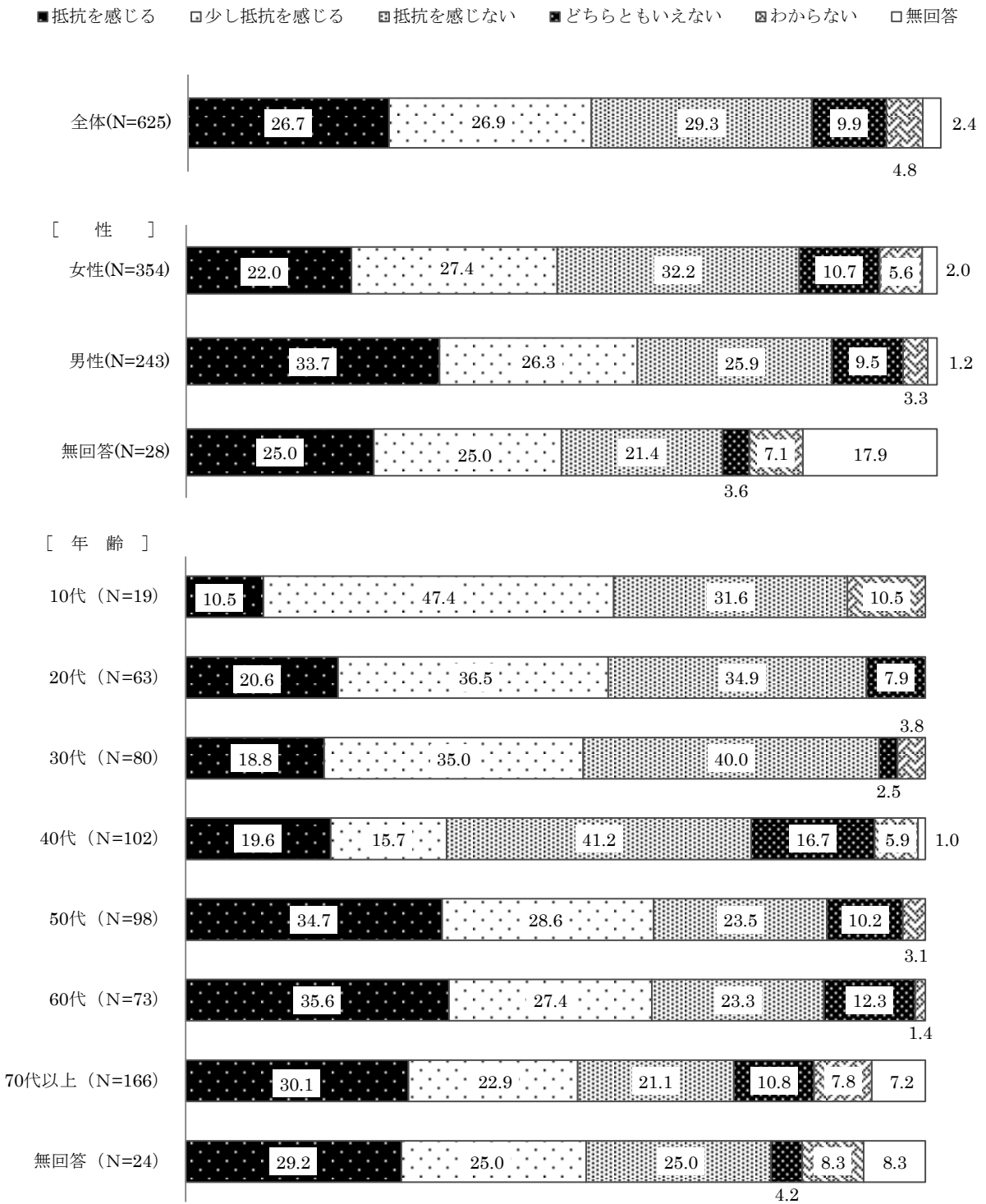


(5) 結婚しないで、仕事に専念する女性

■ 抵抗を感じる □ 少し抵抗を感じる ▨ 抵抗を感じない ■ どちらともいえない ▩ わからない □ 無回答

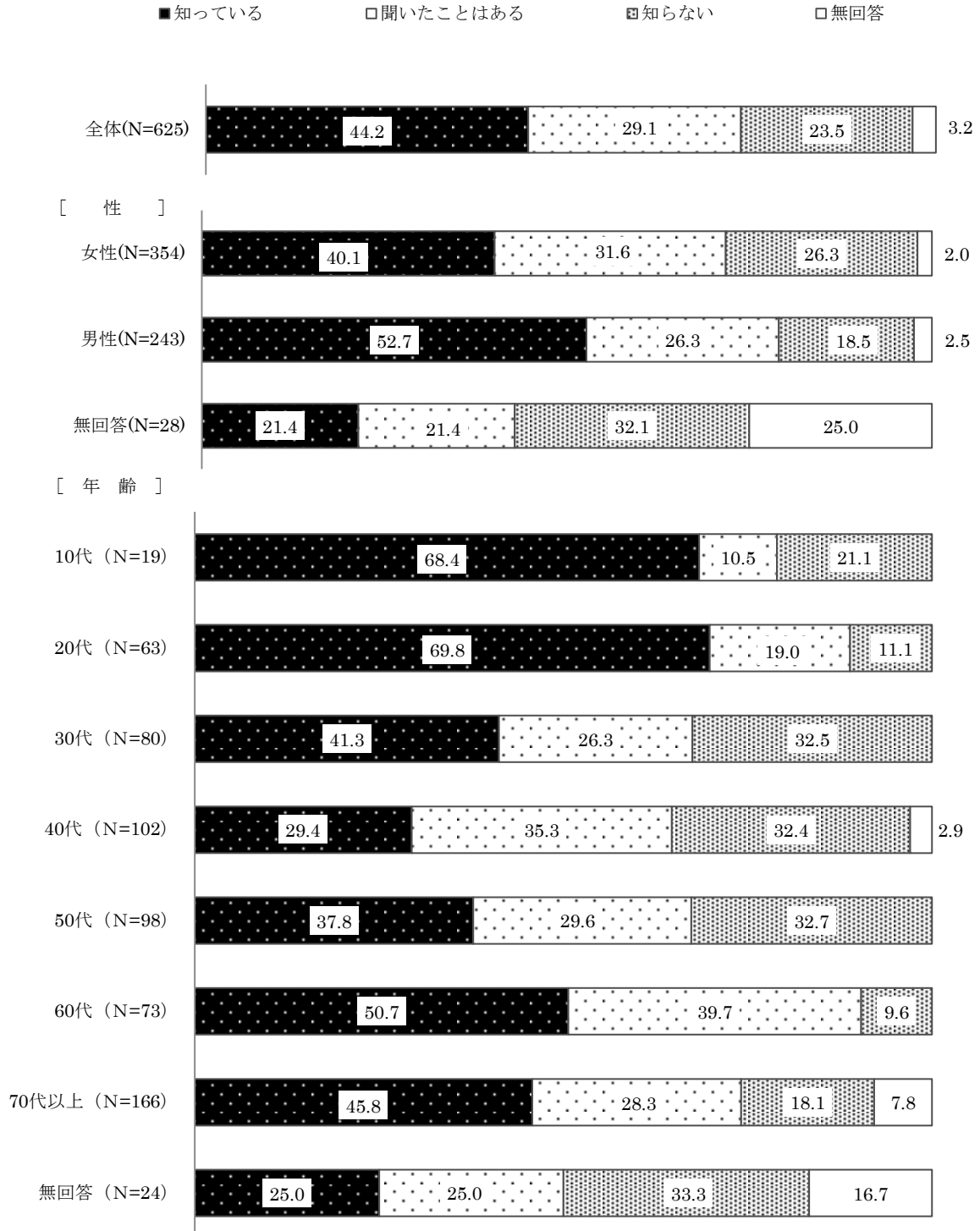


(6) 結婚してもそれぞれの姓を名乗ること

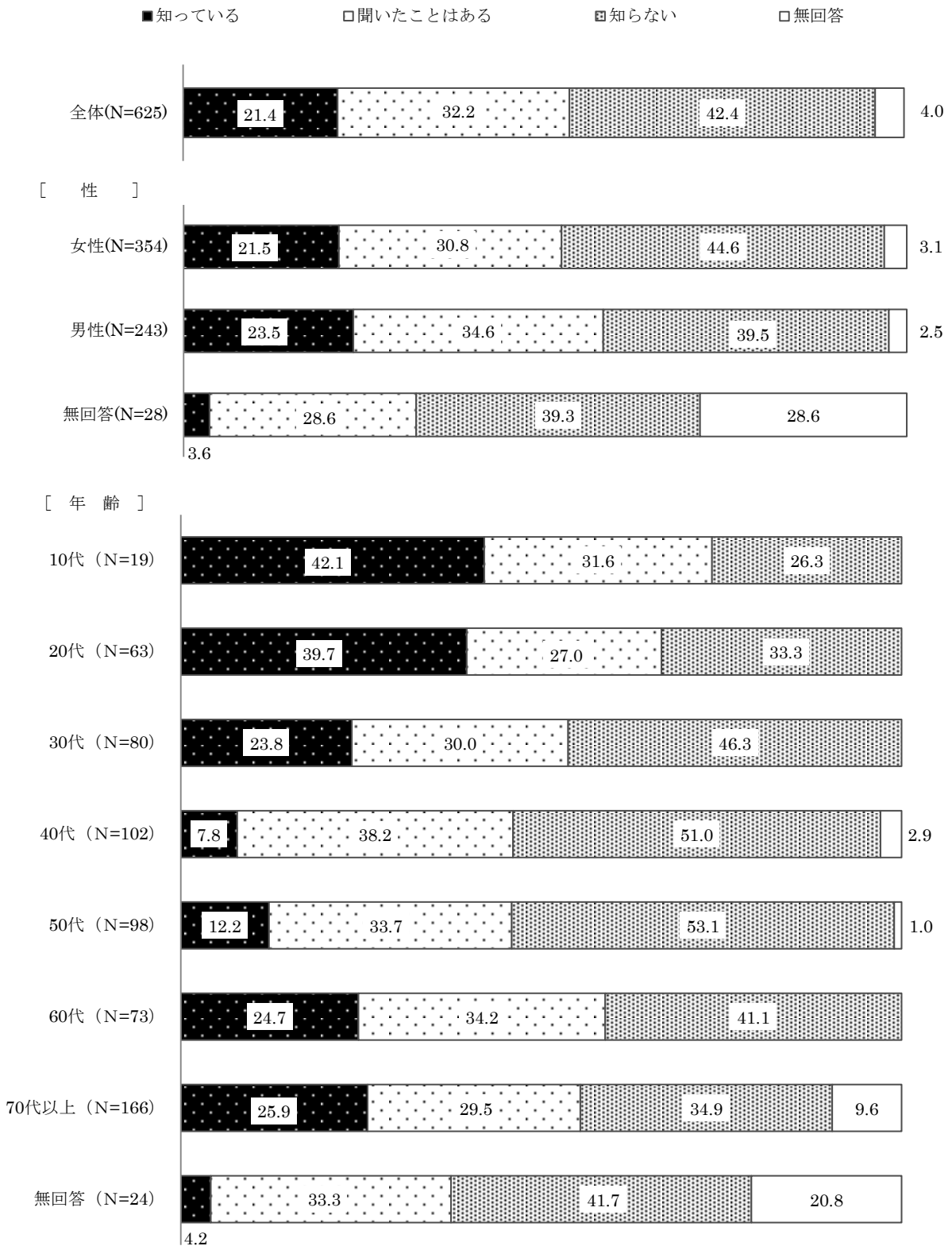


問3 あなたは次の①～⑦の言葉を知っていますか。

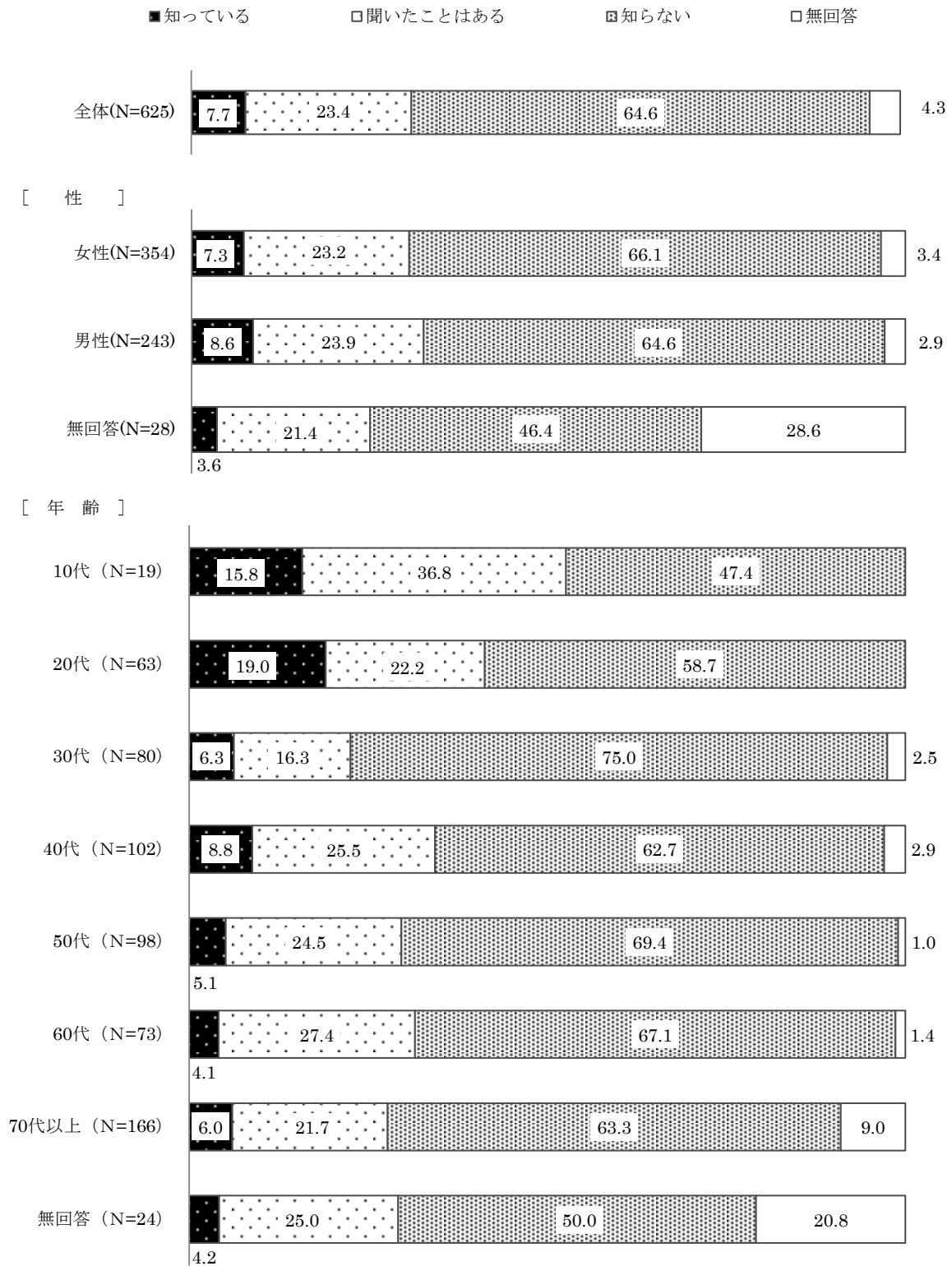
(1) 男女共同参画社会



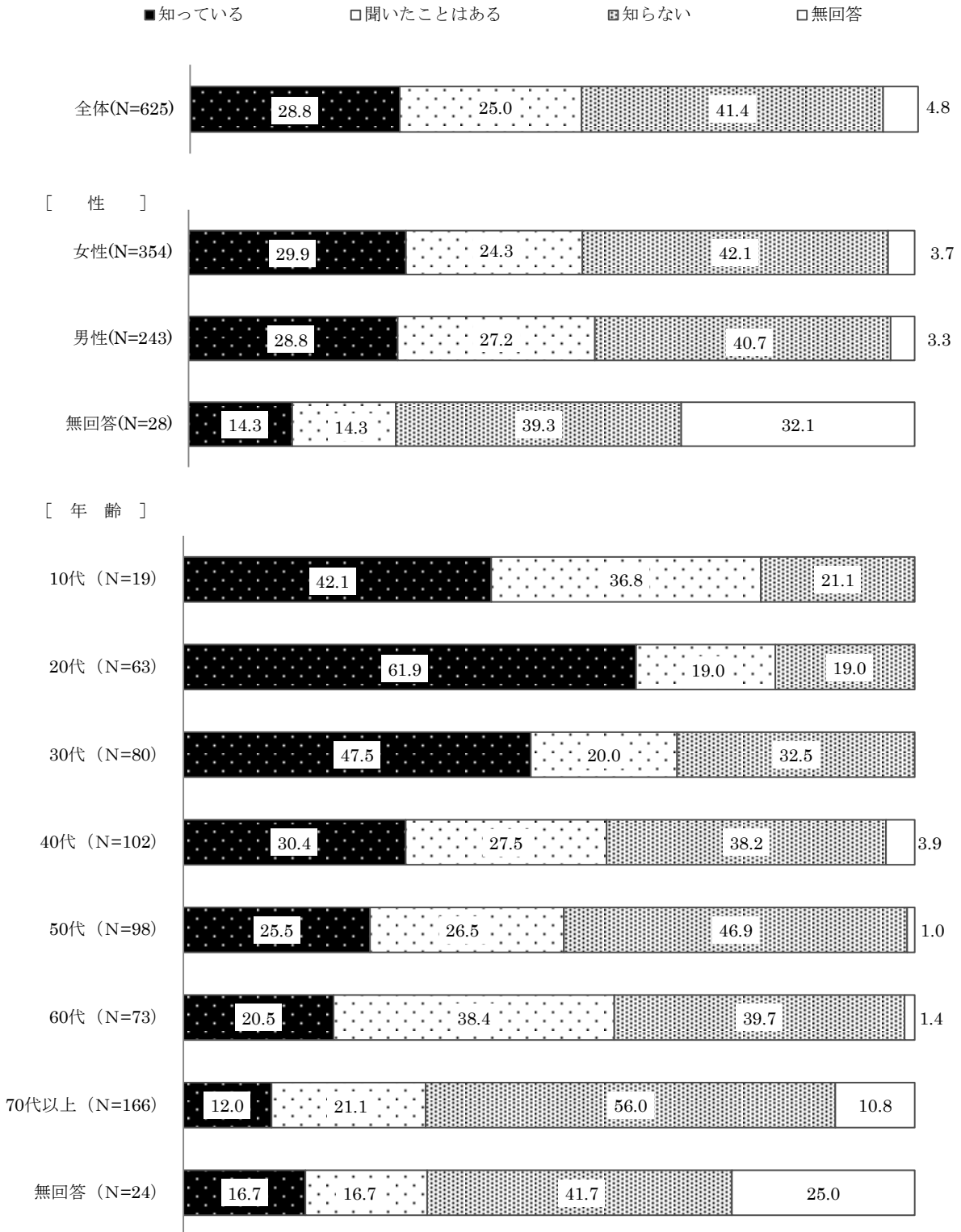
(2) 女子差別撤廃条約



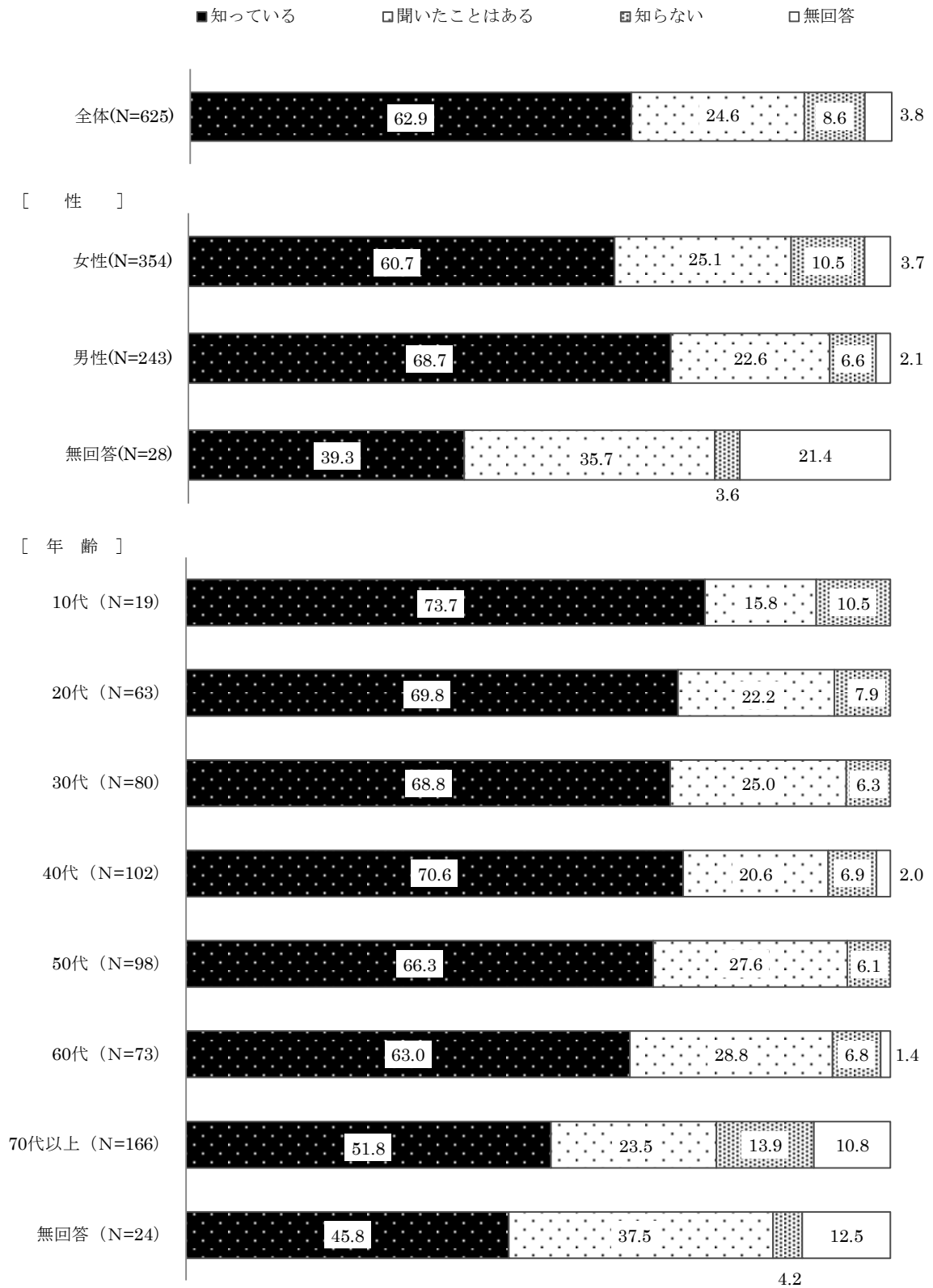
(3) ポジティブ・アクション(積極的改善措置)



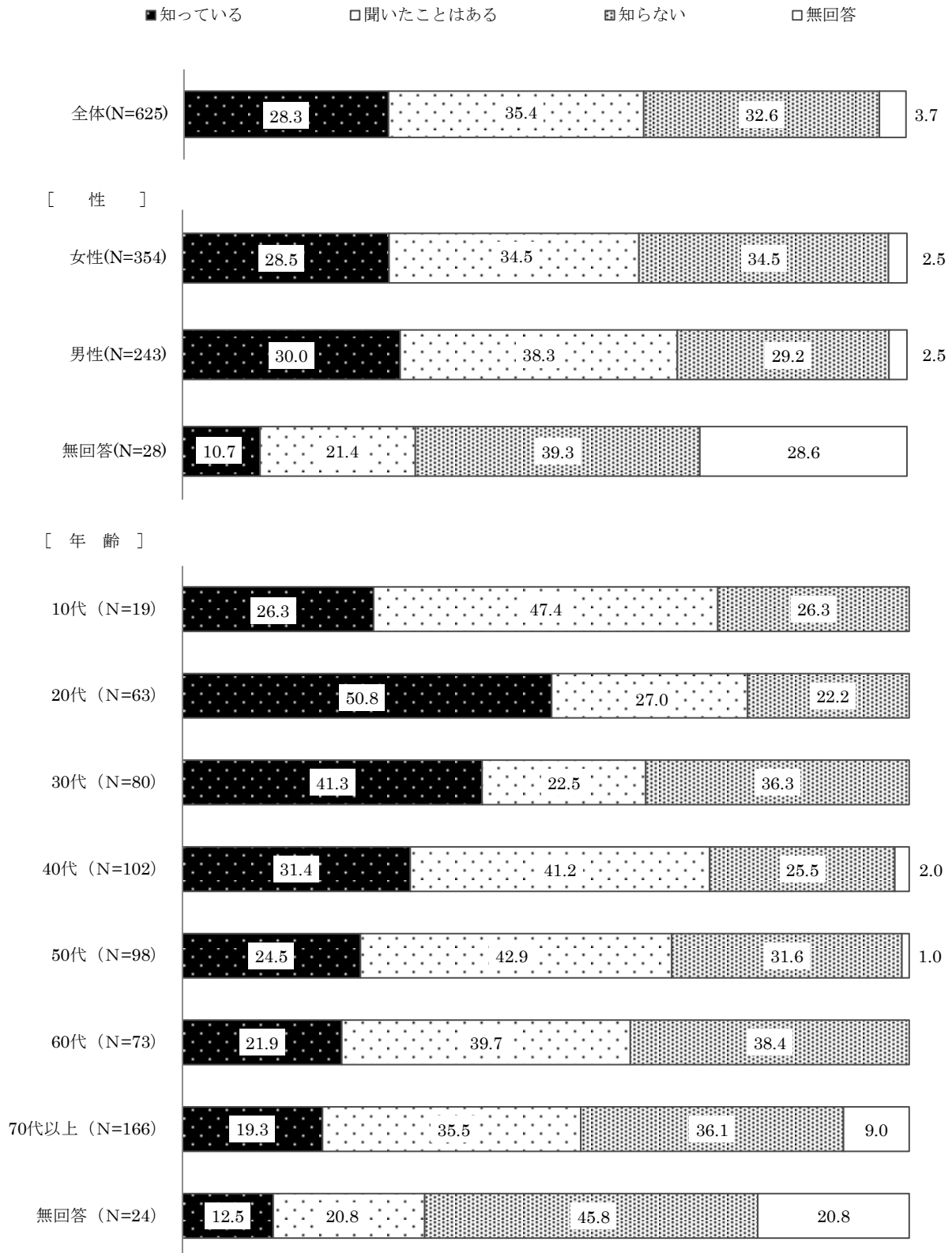
(4) ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)



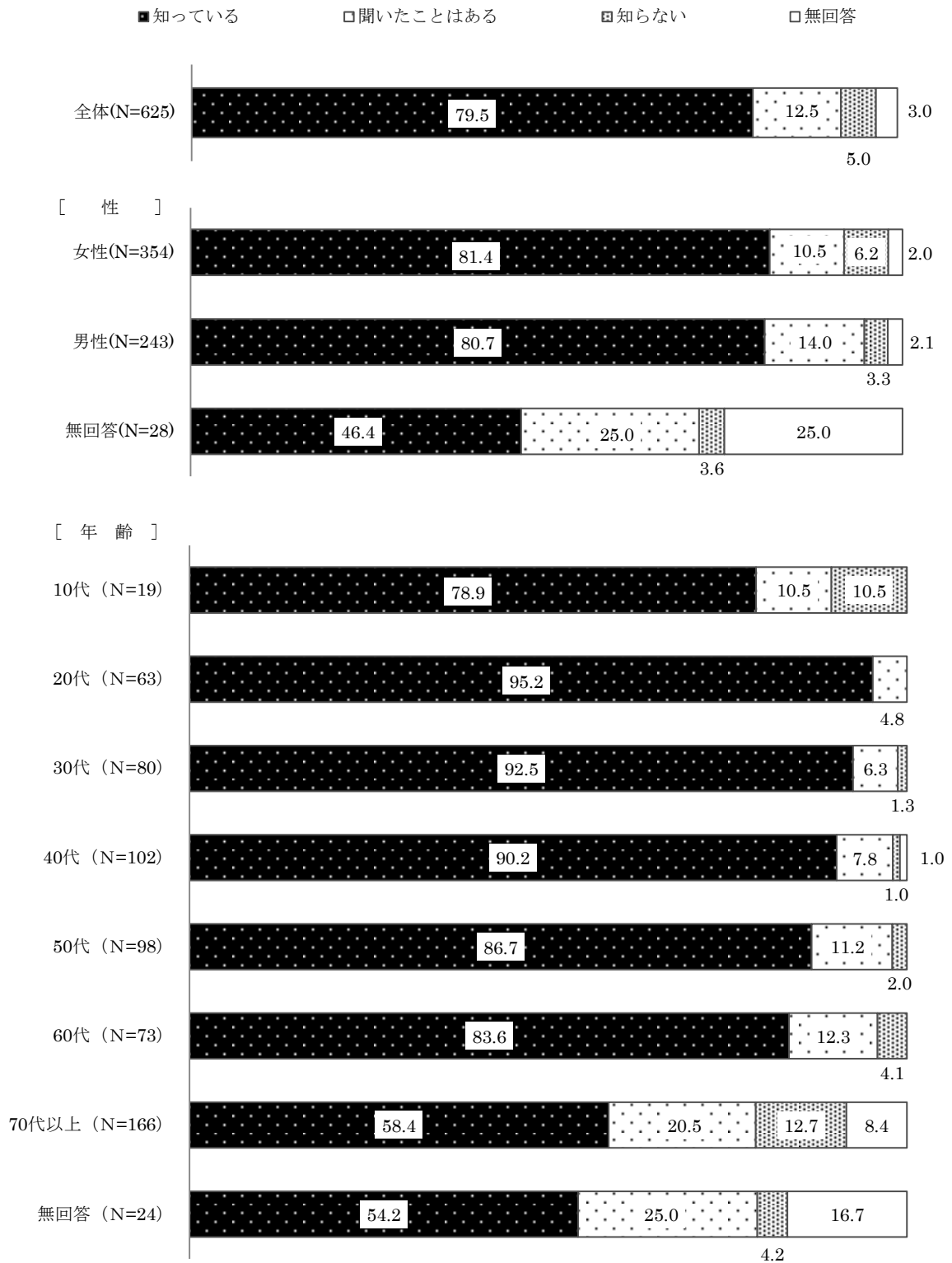
(5) 男女雇用機会均等法



(6) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)



(7) DV(配偶者からの暴力)

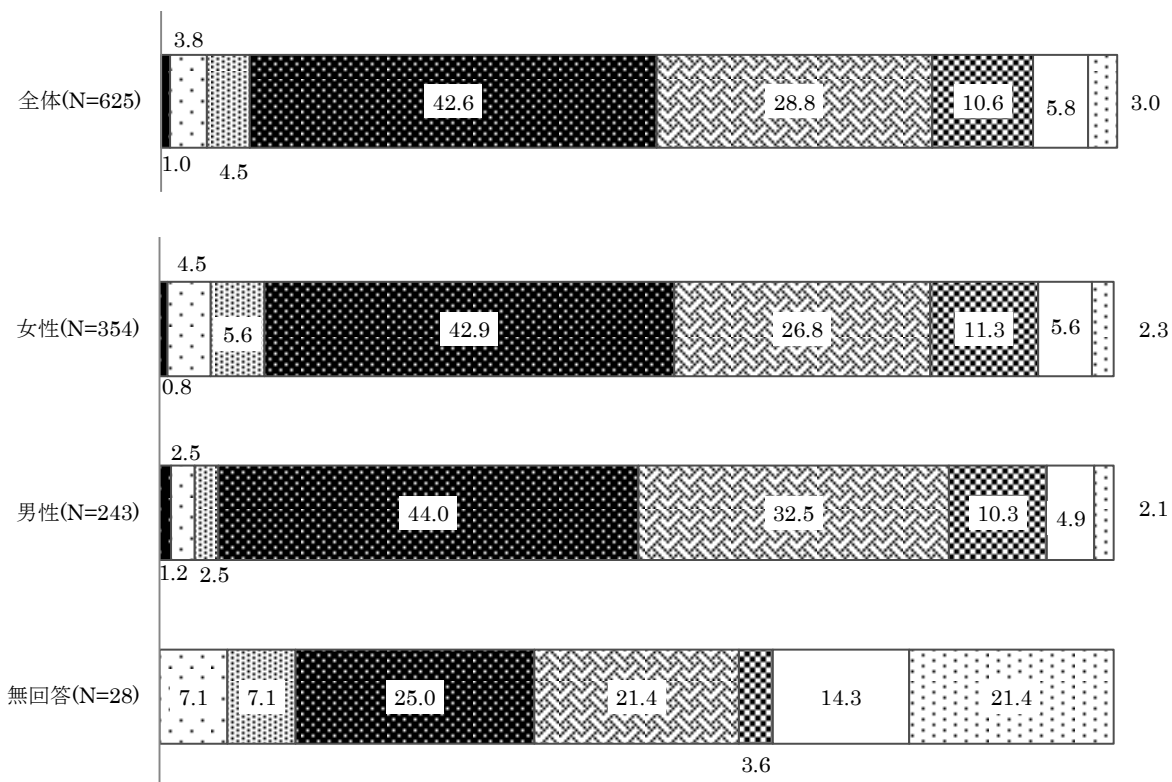


3 仕事・就業に関する意識

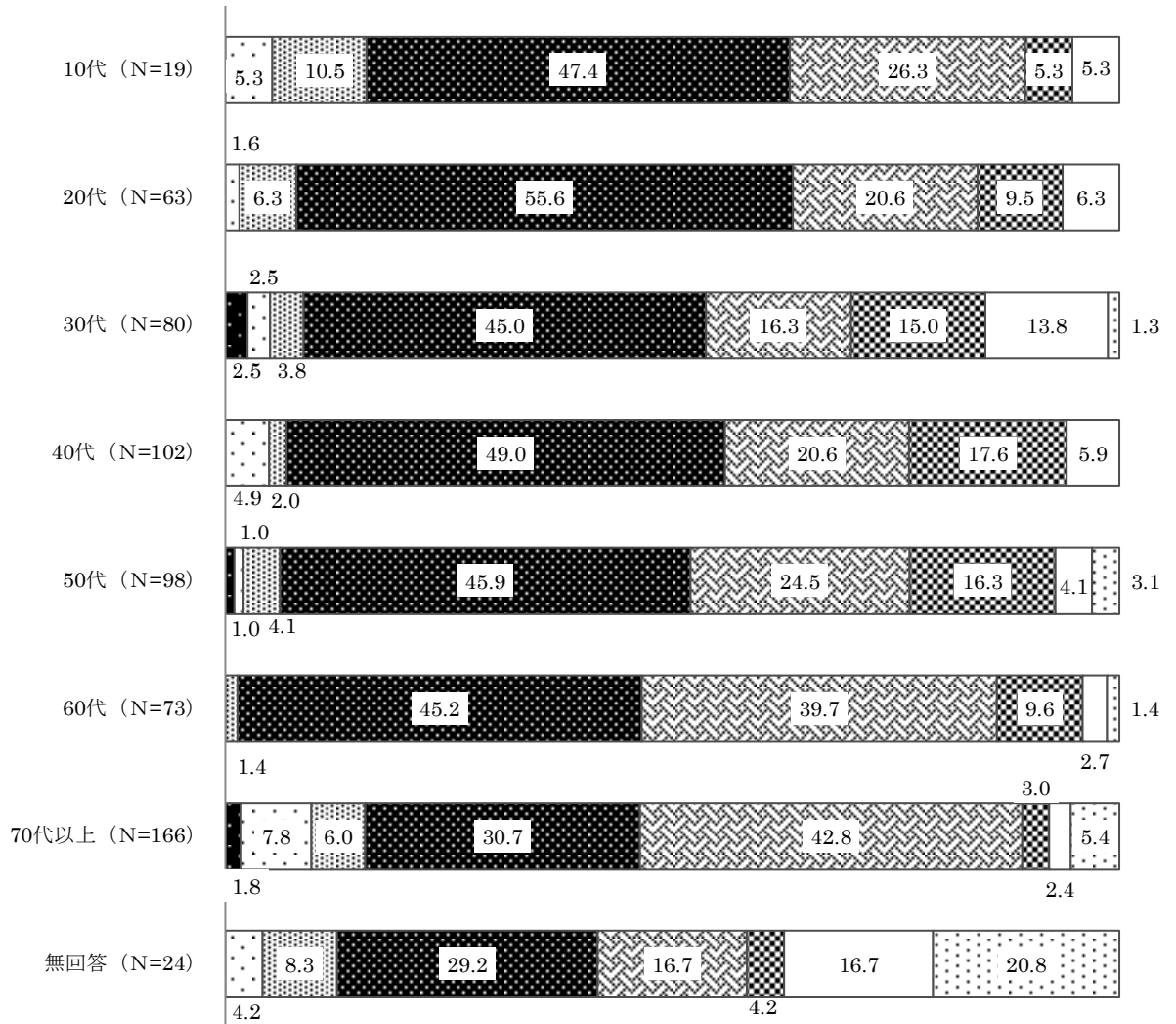
問4 一般的に女性が就業することについて、あなたはどうお考えですか。(〇は1つだけ)

	(宮津市)	(国)
・子どもができて、継続して就業する方がよい	42.6%	54.2%
・子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び就業する方がよい	28.8%	26.3%
・子どもができるまでは、就業する方がよい	4.5%	8.4%
・結婚するまでは就業する方がよい	3.8%	4.7%
・女性は就業しない方がよい	1.0%	3.3%

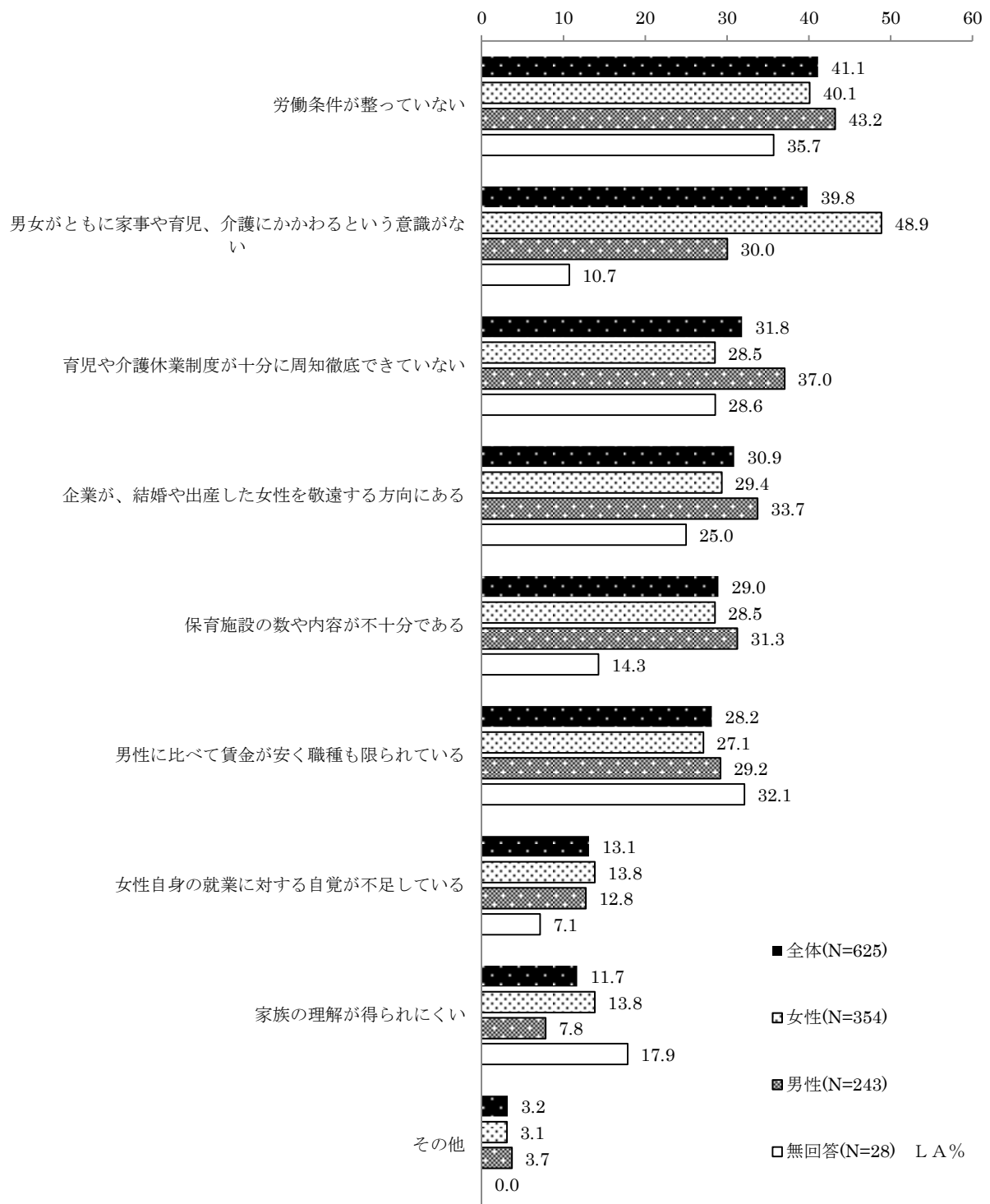
- 女性は就業しない方がよい
- 結婚するまでは就業する方がよい
- ▣ 子どもができるまでは、就業する方がよい
- 子どもができて、継続して就業する方がよい
- ▣ 子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び就業する方がよい
- その他
- わからない
- 無回答



- 女性は就業しない方がよい
- 結婚するまでは就業する方がよい
- ▣ 子どもができるまでは、就業する方がよい
- 子どもができて、継続して就業する方がよい
- ▣ 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び就業する方がよい
- その他
- わからない
- 無回答

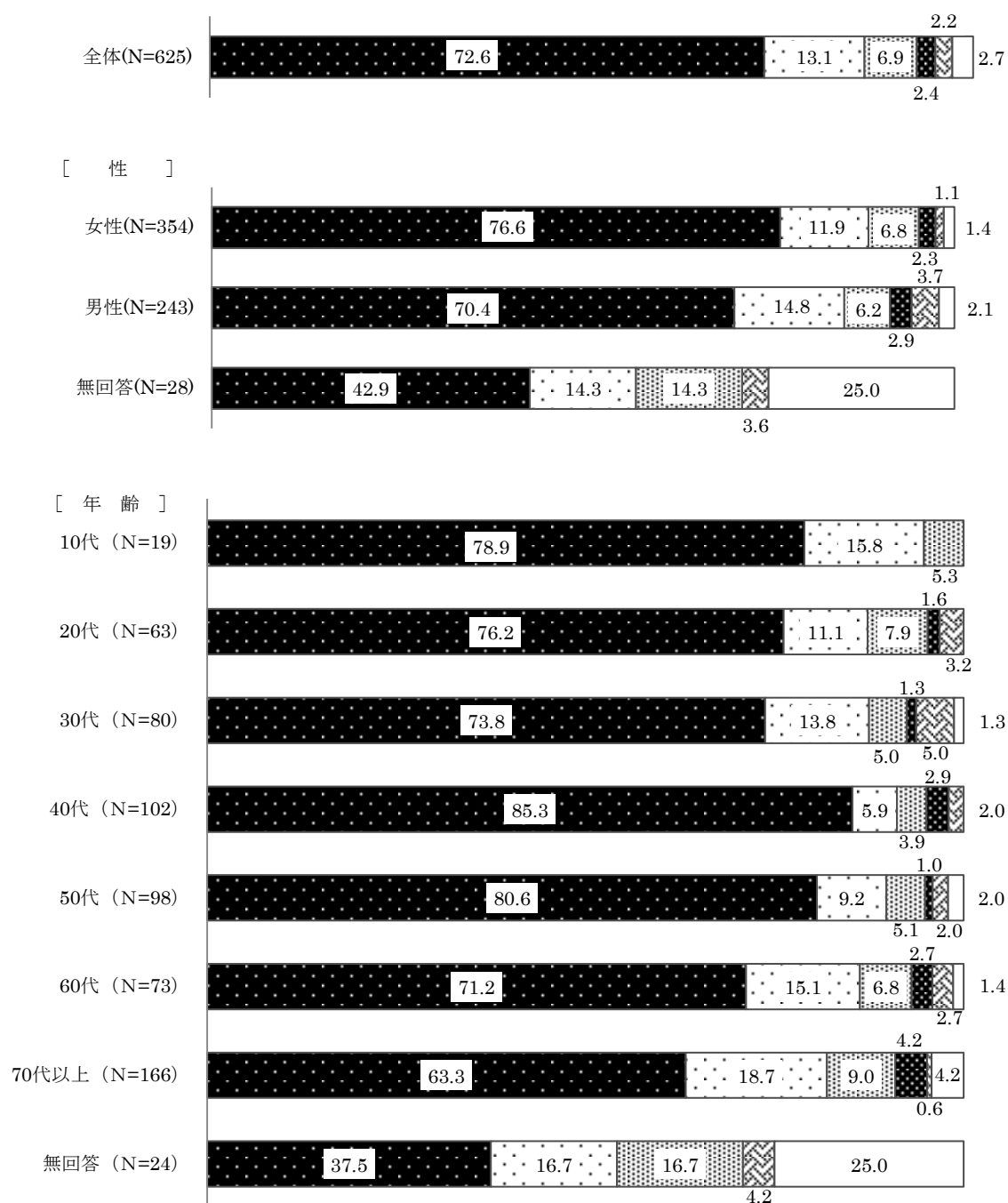


問5 女性が就業する上で、妨げになると思われることは何ですか。(〇は3つまで)



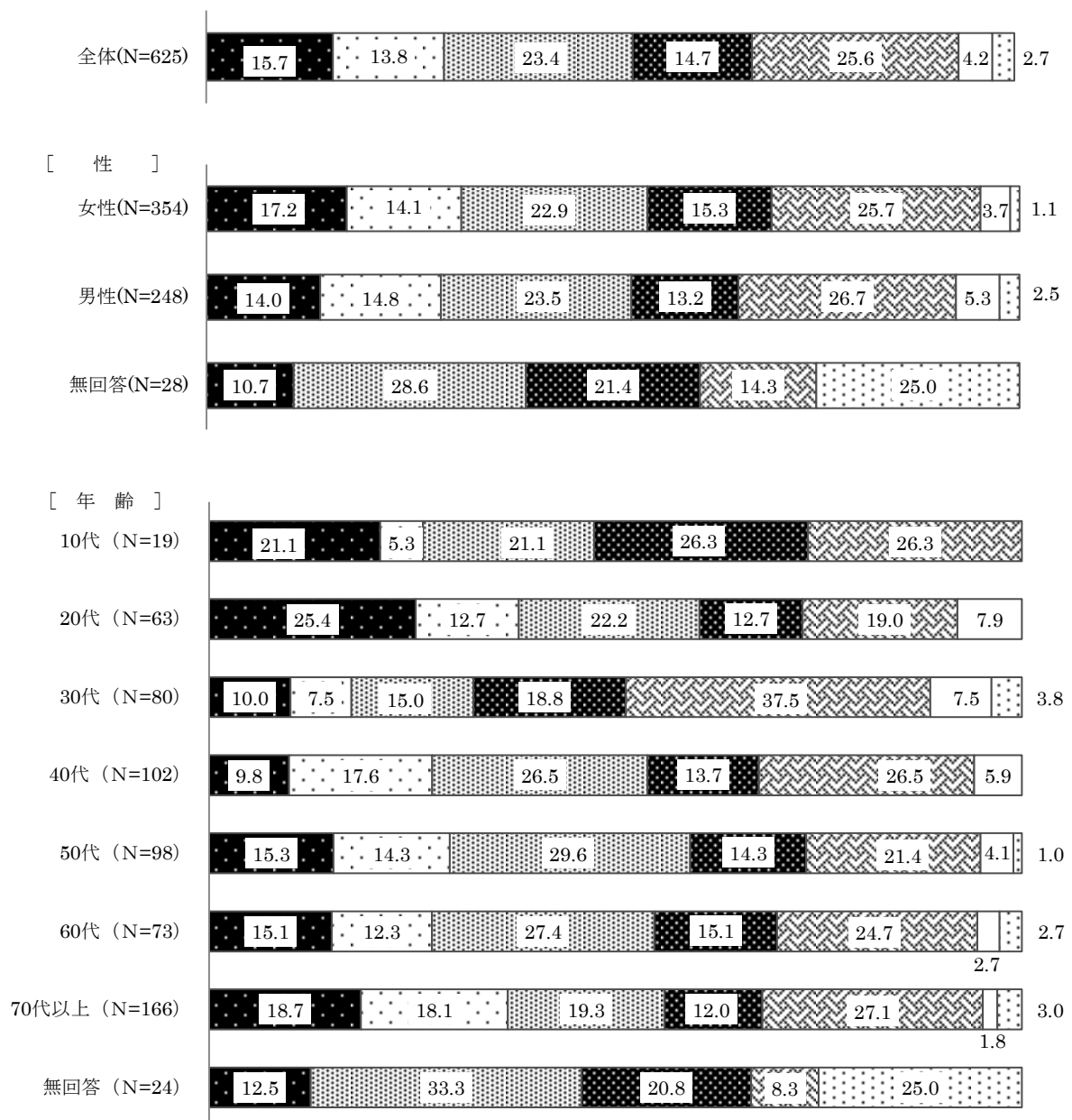
問6 企業や行政などの職場では、まだまだ女性の管理職の比率が低い状況にあります。これについてあなたはどうお考えですか。(〇は1つだけ)

- 適性のある女性はどんどん登用していくべき
- ある程度は男女の比率を同じにするべき
- ▣ このままでよい
- 女性は管理職に向かないので、あまり積極的に登用しなくてよい
- ▣ その他
- 無回答



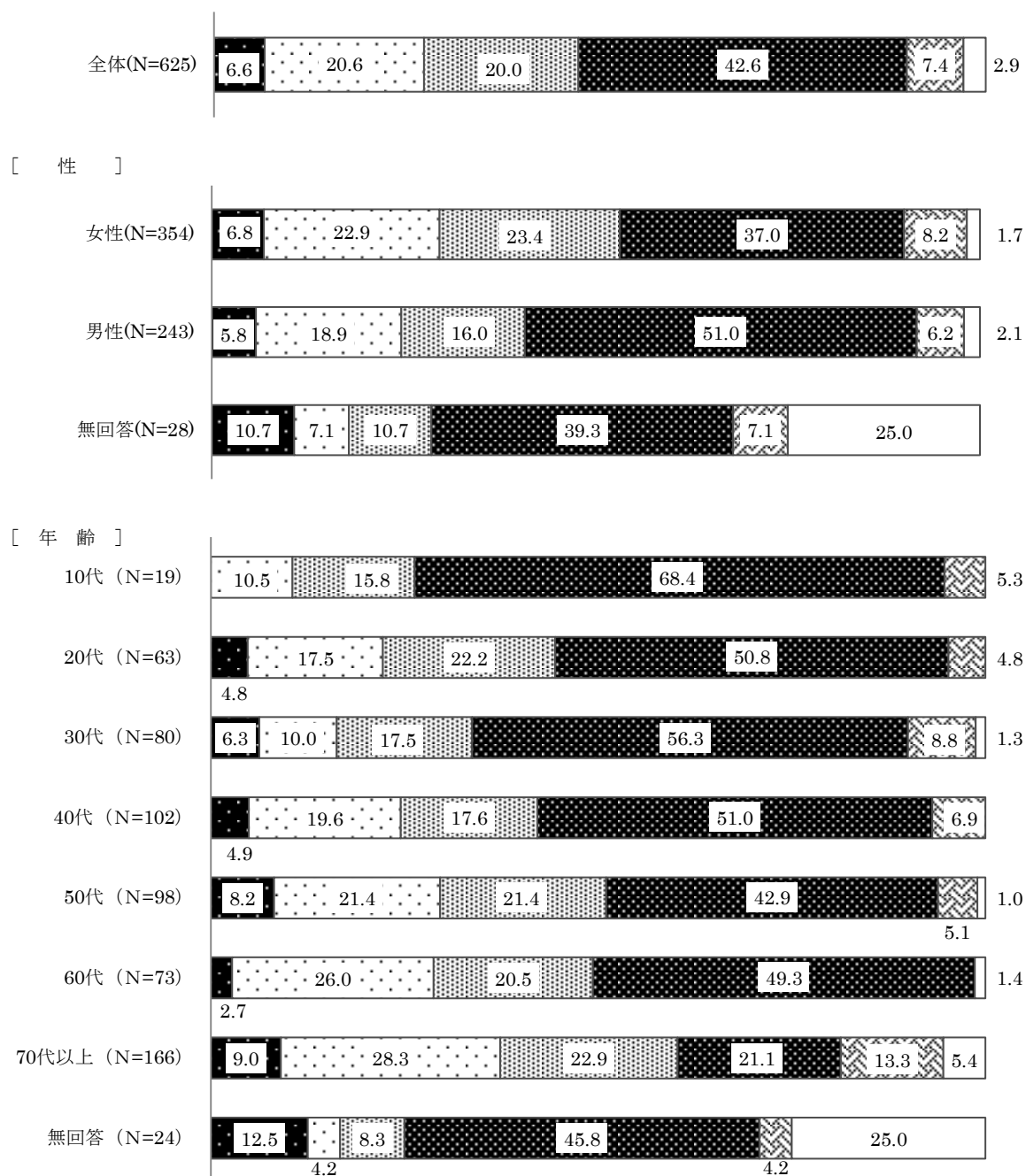
問7 企業や行政などの職場において、女性がさらに責任ある職務に就くためには、どうするのがよいと思いますか。(〇は1つだけ)

- 女性の教育や研修機会を充実する
- 女性の意識改革を進める
- 男性の意識改革を進める
- 一定の割合で女性管理職の登用を進める
- すべての仕事を男女がともに担うようにする
- その他
- 無回答



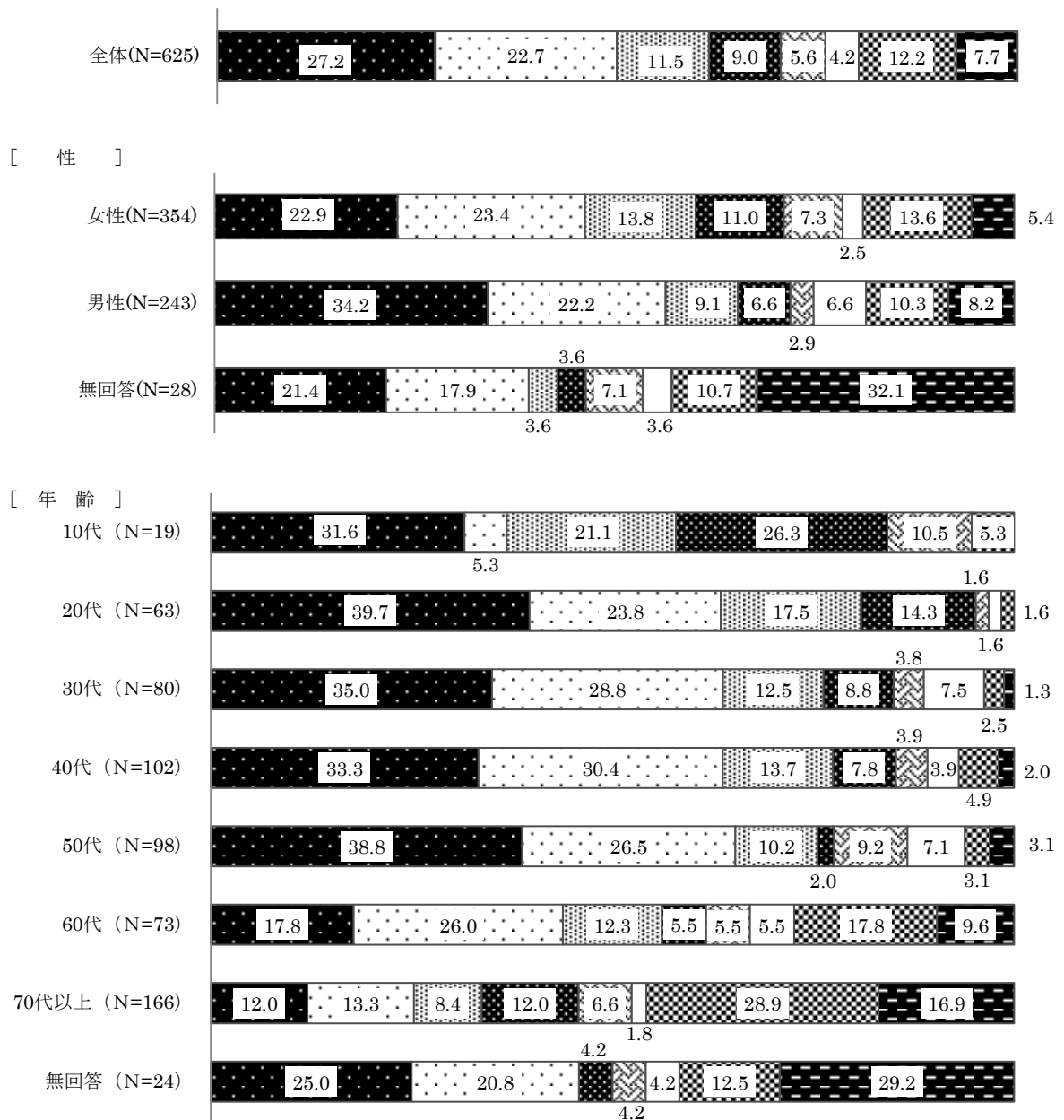
問8 あなたは進路や職業を選択する際に、性別を意識しましたか。または、しますか。(〇は1つだけ)

- 性別をかなり意識して選択した(する)
- どちらかといえば性別を意識して選択した(する)
- ▣ どちらかといえば性別を意識せずに選択した(する)
- 性別をほとんど(全く)意識せずに選択した(する)
- ▤ わからない
- 無回答

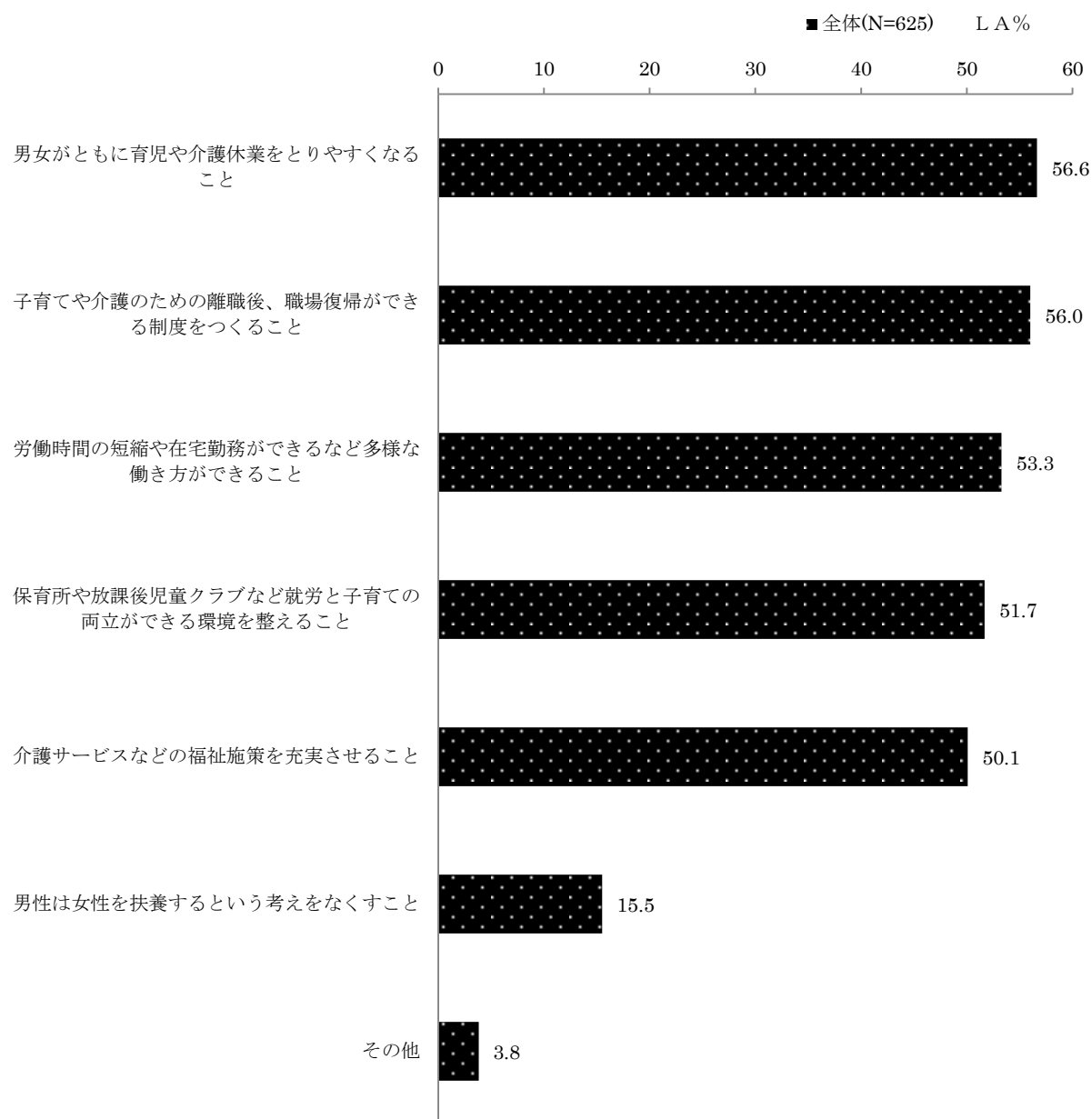


問9 将来、家族の育児や介護が必要となった状態で、継続して就業したいと思いますか。現在、育児や介護中の方は、現在の希望をお答えください。(〇は1つだけ)

- 職場が許せば働きたい
- 条件のあう保育や介護サービスがあれば働きたい
- ▣ 家族が育児や介護を分担してくれれば、働きたい
- 育児や介護が一段落すれば、働きたい
- ▣ 育児や介護から手が離れるまでは、働かない
- その他
- ▣ 無職
- 無回答

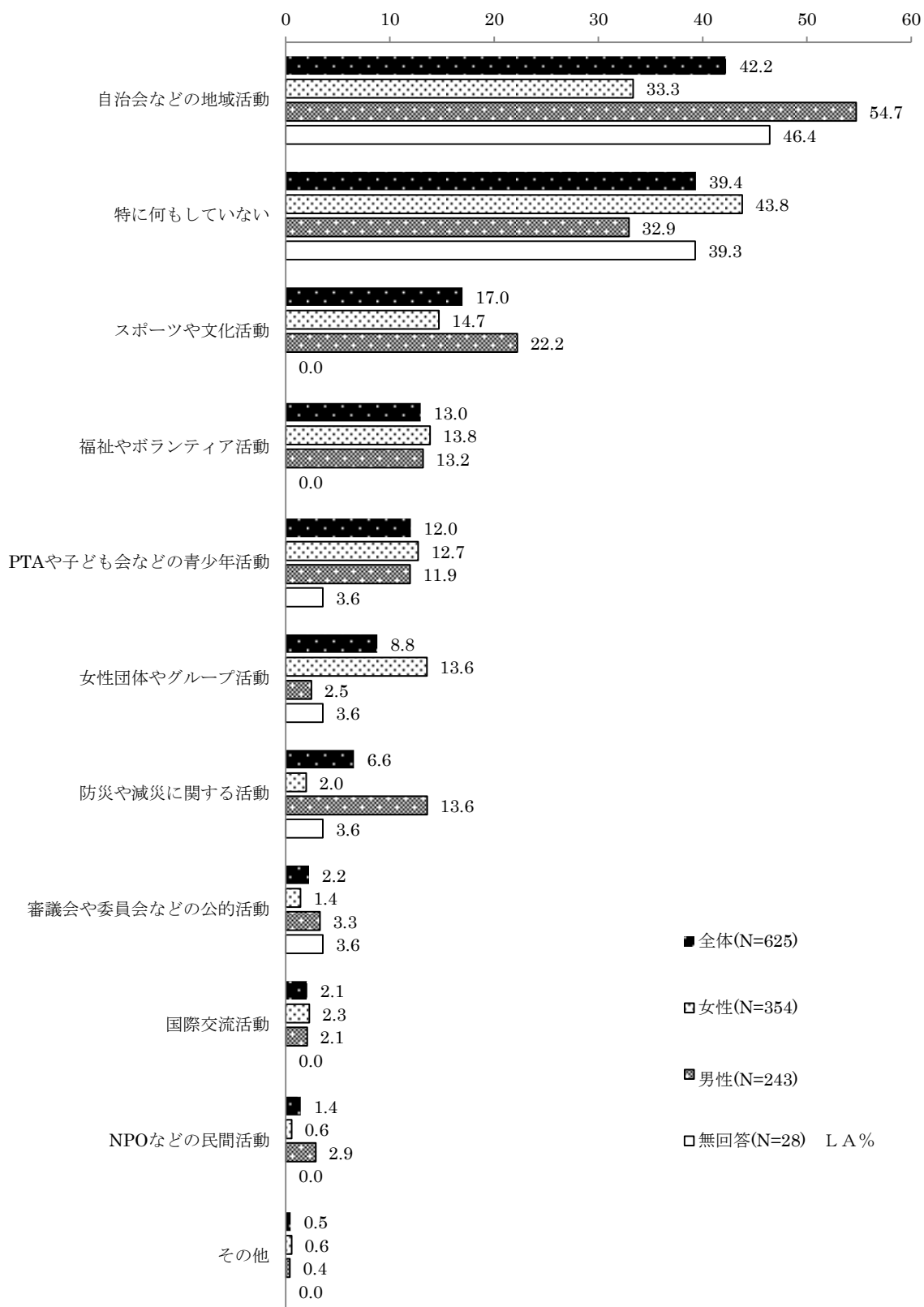


問 10 男女がともに働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

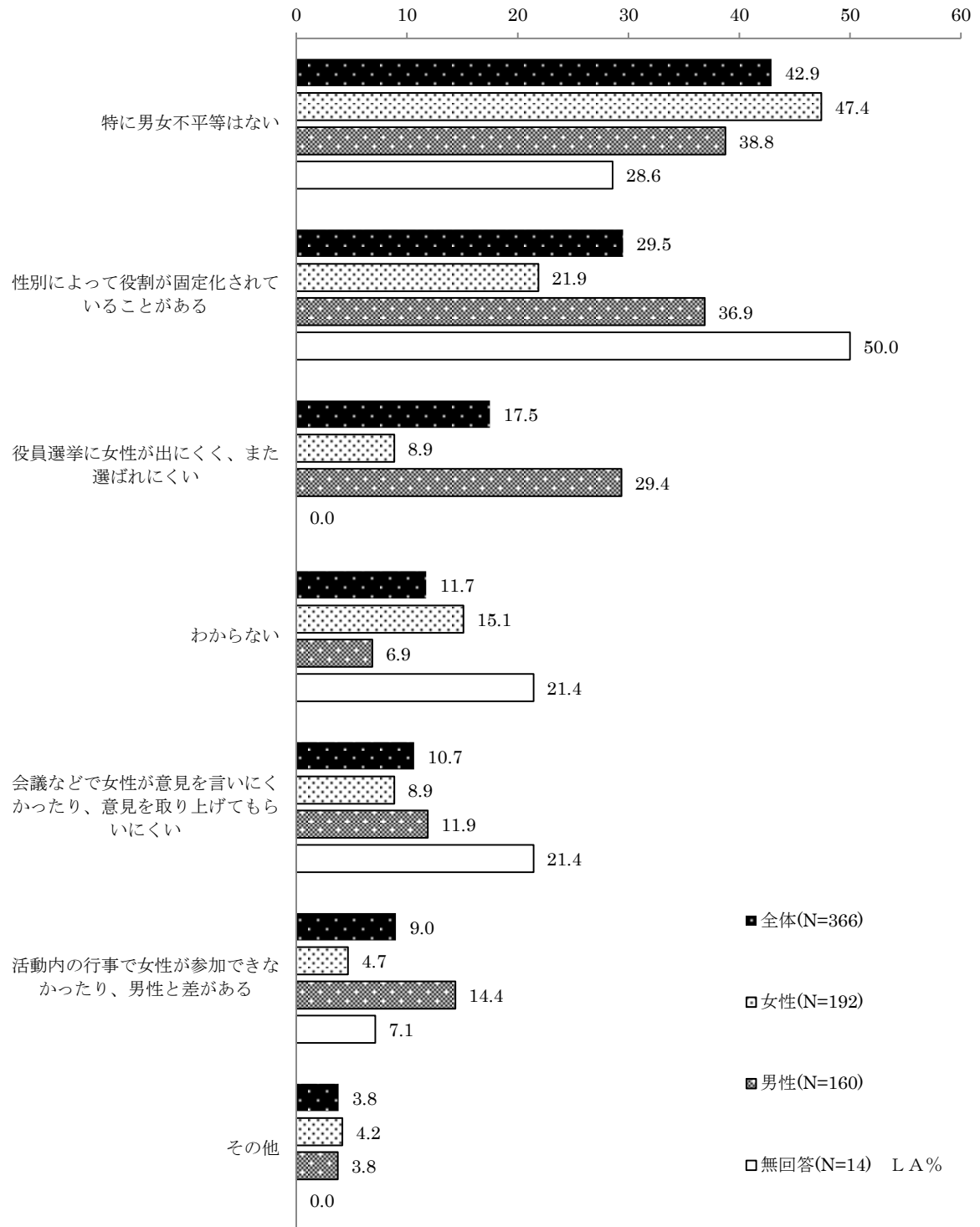


4 地域活動に関する意識

問 11 あなたは、現在、どのような社会活動に参加されていますか。(あてはまるもの全てに○)



問 12 あなたが主に参加している社会活動において、問題に感じていることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

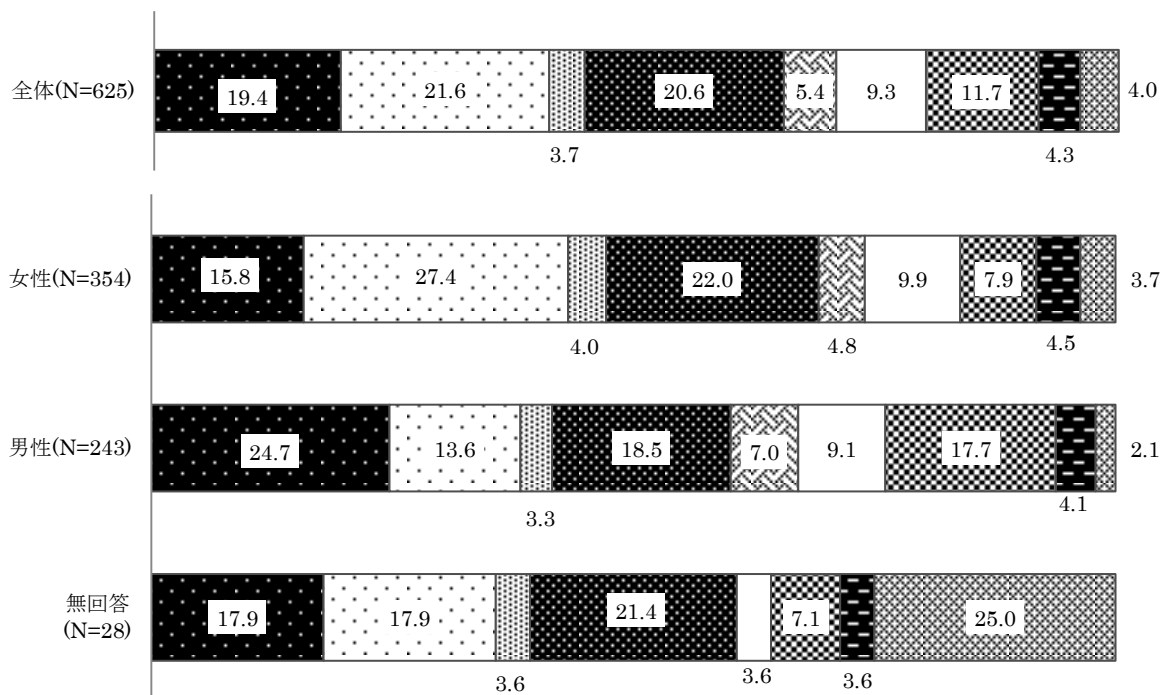


5 家庭生活等に関する意識

問 13 あなたの現実(現状)に最も近いものをこの中から 1 つだけお答えください。

	(宮津市)	(国)
・「家庭生活」を優先している	21.6%	30.5%
・「仕事」と「家庭生活」を両立している	20.6%	21.6%
・「仕事」を優先している	19.4%	25.5%
・「仕事」と「家庭生活」と「地域や個人の生活」を全て 両立している	11.7%	5.3%
・「家庭生活」と「地域や個人の生活」を両立している	9.3%	8.0%
・「仕事」と「地域や個人の生活」を両立している	5.4%	3.2%
・「地域や個人の生活」を優先している	3.7%	4.6%

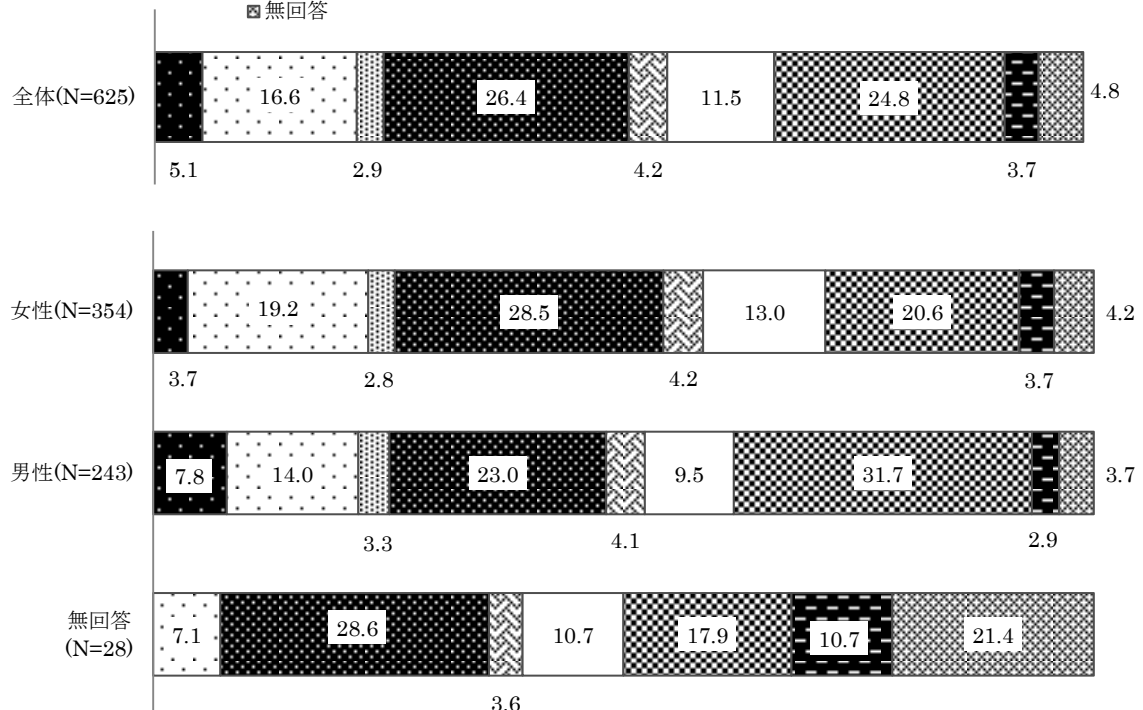
- 「仕事」を優先している
- 「家庭生活」を優先している
- ▨ 「地域や個人の生活」を優先している
- 「仕事」と「家庭生活」を両立している
- ▨ 「仕事」と「地域や個人の生活」を両立している
- 「家庭生活」と「地域や個人の生活」を両立している
- ▨ 「仕事」と「家庭生活」と「地域や個人の生活」を全て両立している
- その他
- ▨ 無回答



問 14 あなたの希望に最も近いものをこの中から 1 つだけお答えください。

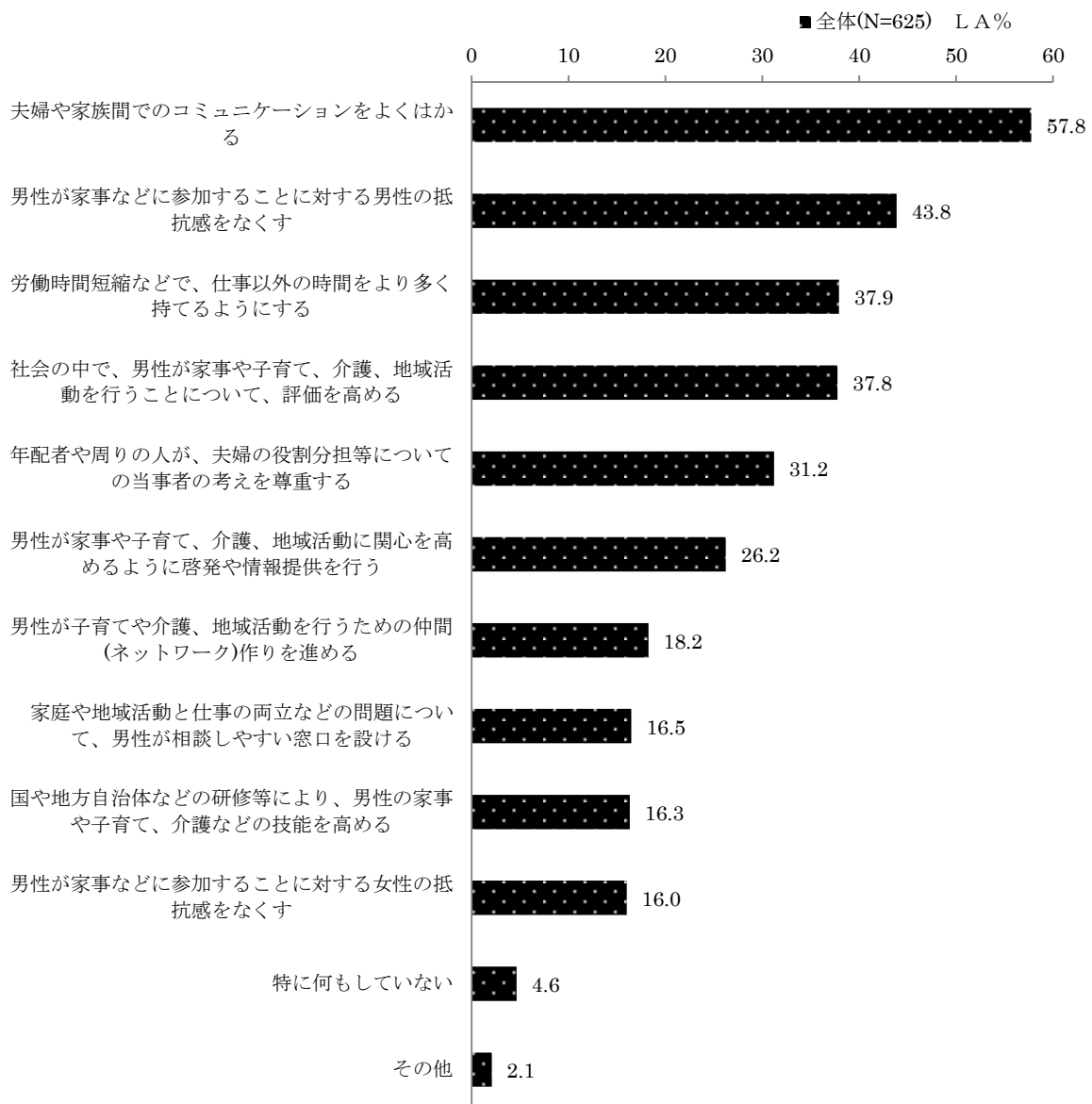
	(宮津市)	(国)
・「仕事」と「家庭生活」を両立したい	26.4%	30.5%
・「仕事」と「家庭生活」と「地域や個人の生活」を全て両立したい	24.8%	15.4%
・「家庭生活」を優先したい	16.6%	25.5%
・「家庭生活」と「地域や個人の生活」を両立したい	11.5%	9.7%
・「仕事」を優先したい	5.1%	8.9%
・「仕事」と「地域や個人の生活」を両立したい	4.2%	4.7%
・「地域や個人の生活」を優先したい	2.9%	3.8%

- 「仕事」を優先したい
- 「家庭生活」を優先したい
- ▣ 「地域や個人の生活」を優先したい
- 「仕事」と「家庭生活」を両立したい
- ▣ 「仕事」と「地域や個人の生活」を両立したい
- 「家庭生活」と「地域や個人の生活」を両立したい
- ▣ 「仕事」と「家庭生活」と「地域や個人の生活」を全て両立したい
- その他
- ▣ 無回答



問 15 今後、男性が家事や子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

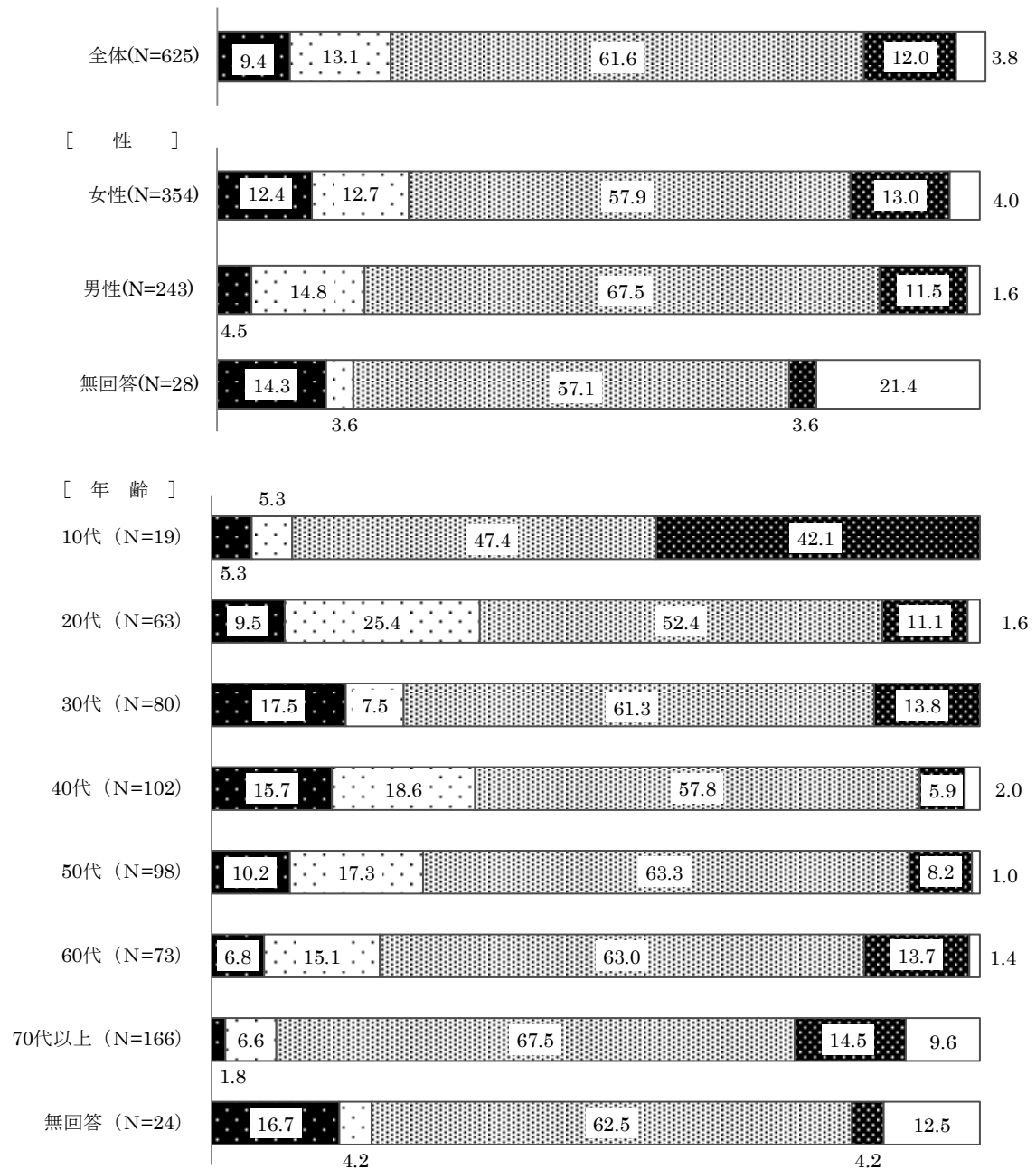
(上位4項目)	(宮津市)	(国)
• 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる	57.8%	59.4%
• 男性が家事などに参加することに対する男性の抵抗感をなくす	43.8%	57.0%
• 労働時間短縮などで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする	37.9%	30.8%
• 社会の中で、男性が家事や子育て、介護、地域活動を行うことについて、評価を高める	37.8%	47.9%



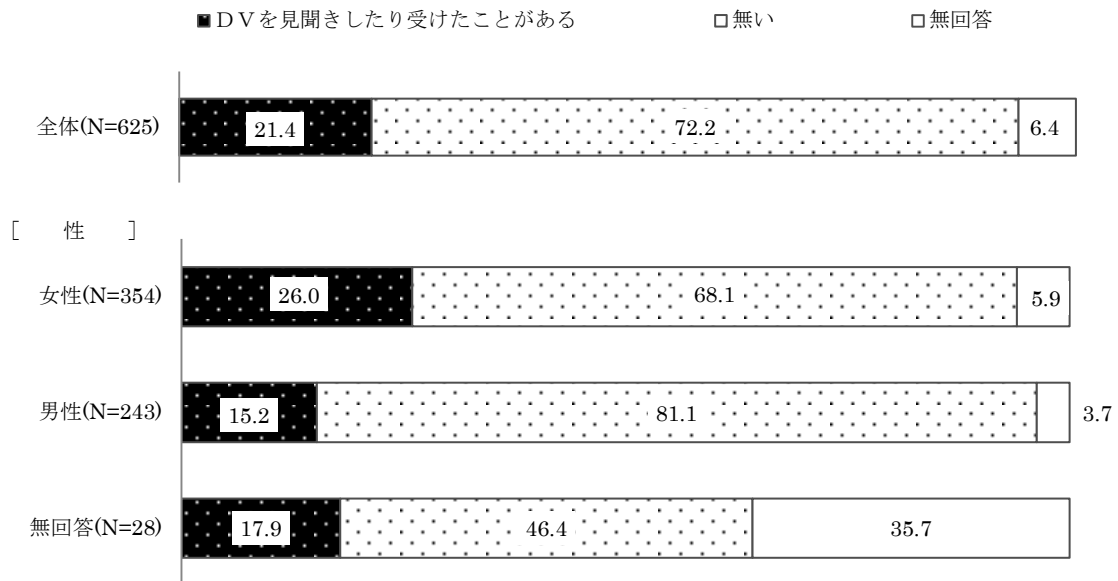
6 セクシュアル・ハラスメント、DVに関する意識

問 16 あなたはセクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントを受けたり、見聞きしたりしたことがありますか。(〇は1つだけ)

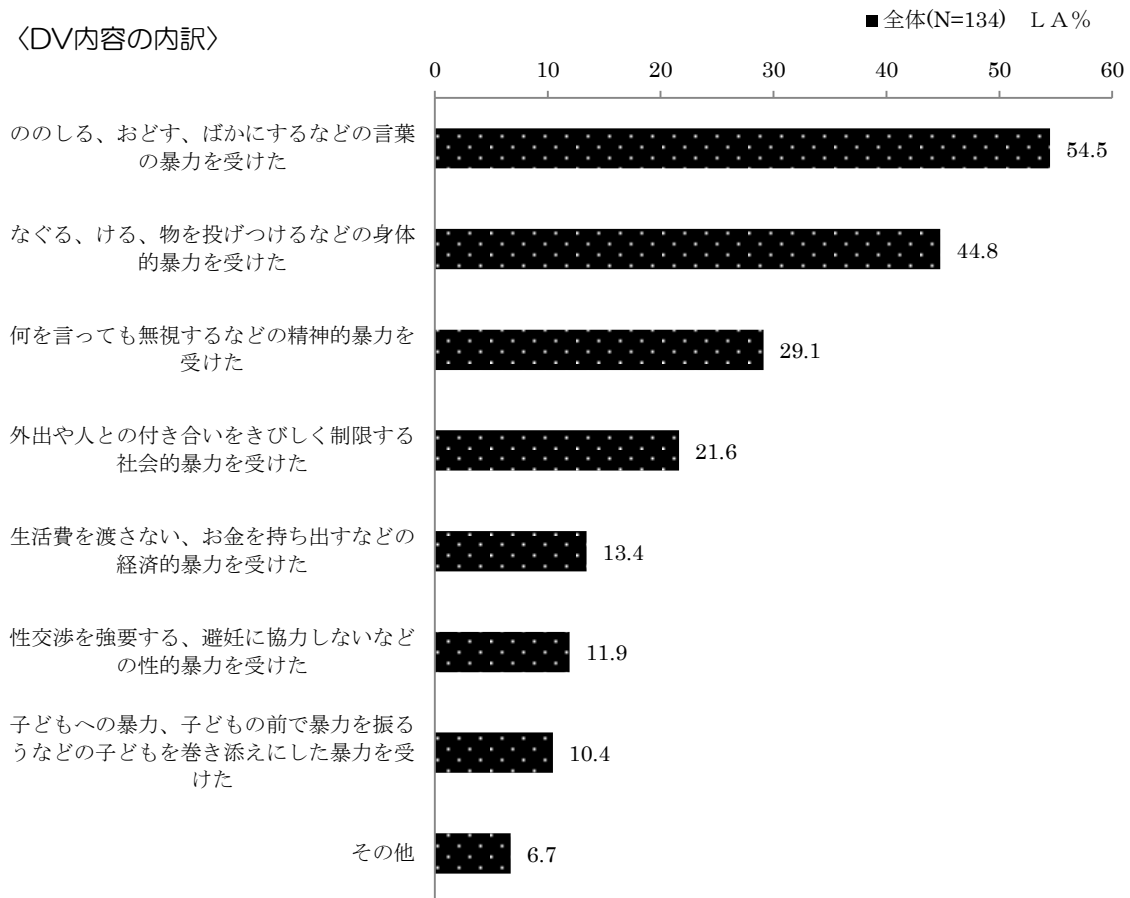
- 自分自身がセクハラなどを受けたことがある
- 家族や友人、職場の仲間など、自分の周りにセクハラなどを受けた人がいる
- ▣ テレビや新聞などで問題になっていることは知っている
- セクハラなどを受けたり見聞きしたりしたことはない
- 無回答



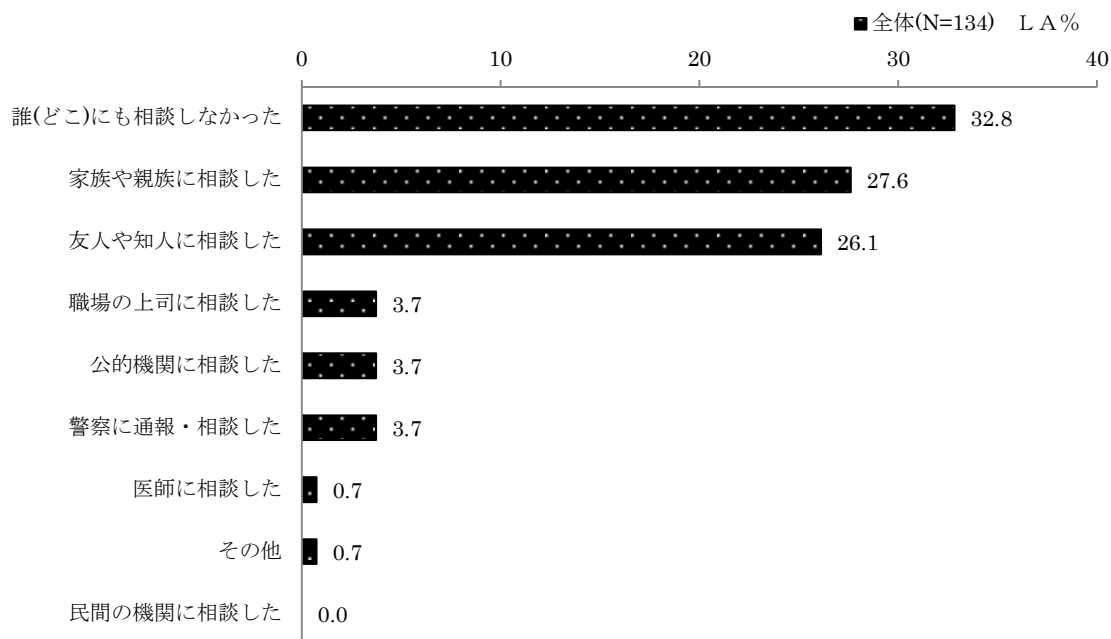
問 17 あなたは配偶者や親しい異性(恋人等)から次のような暴力的な行為(DV)を受けたり、見聞きしたりしたことがありますか。(あてはまるもの全てに○)



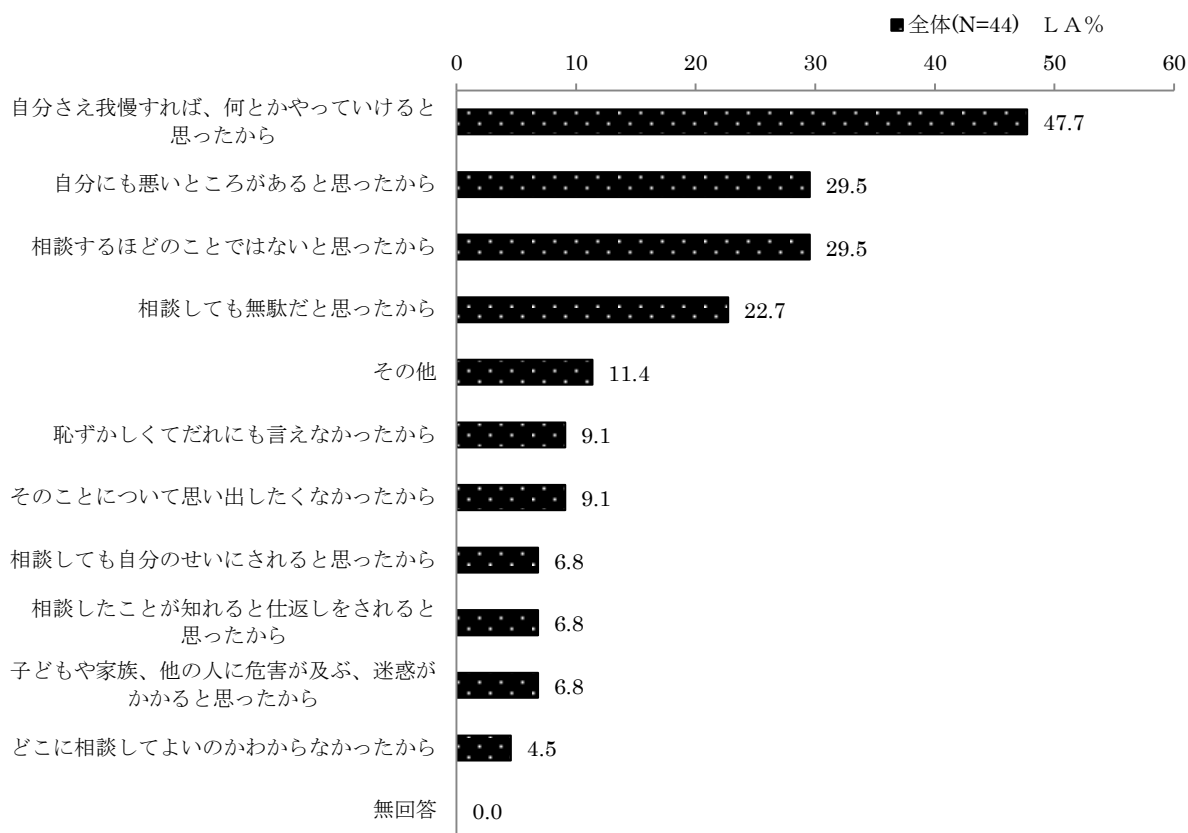
〈DV内容の内訳〉



問 18 あなたは、そのこと(DV)を誰かに話したり、相談したりしましたか。(あてはまるもの全てに○)

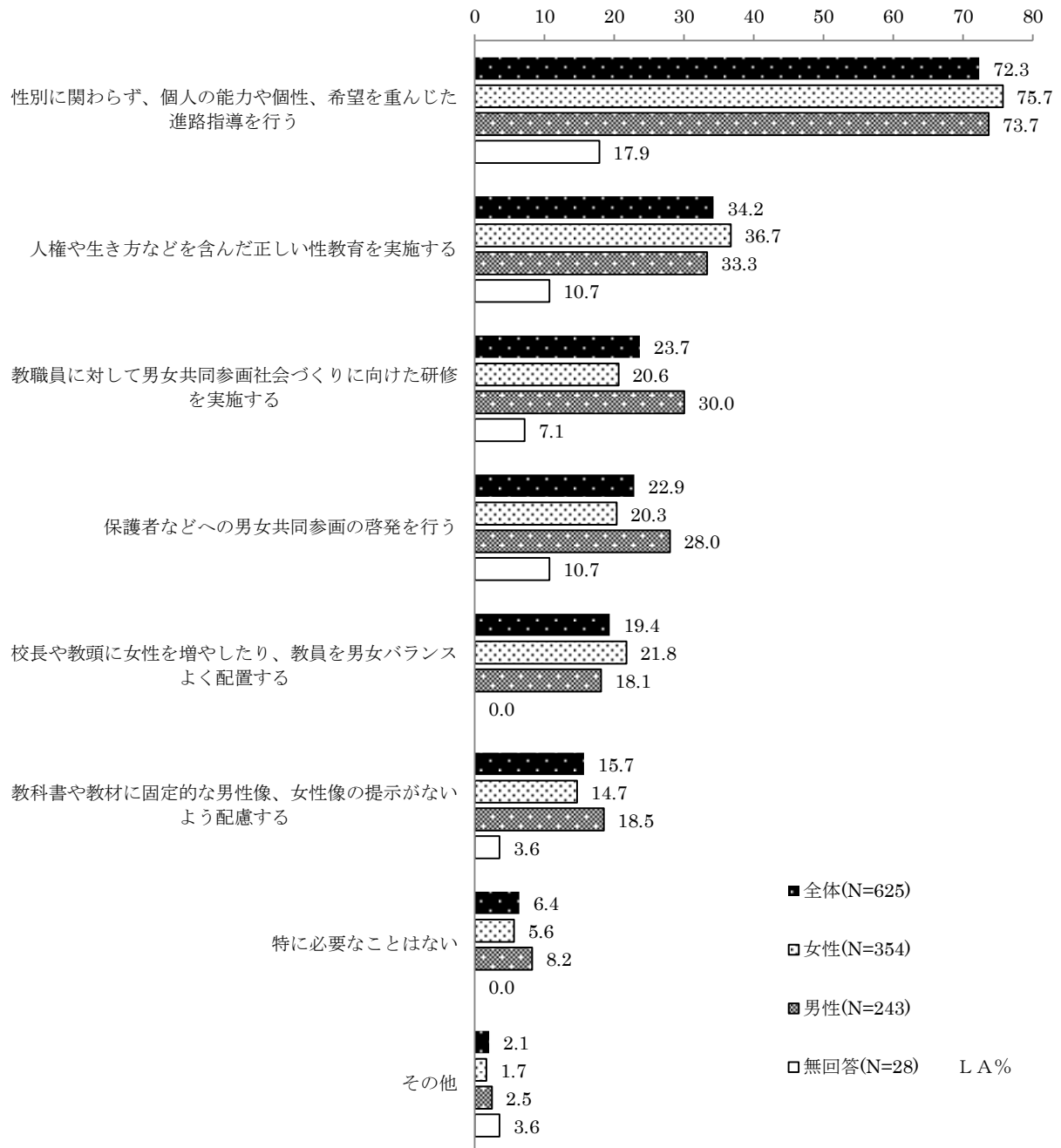


問 19 相談しなかったのは、なぜですか。(あてはまるもの全てに○)



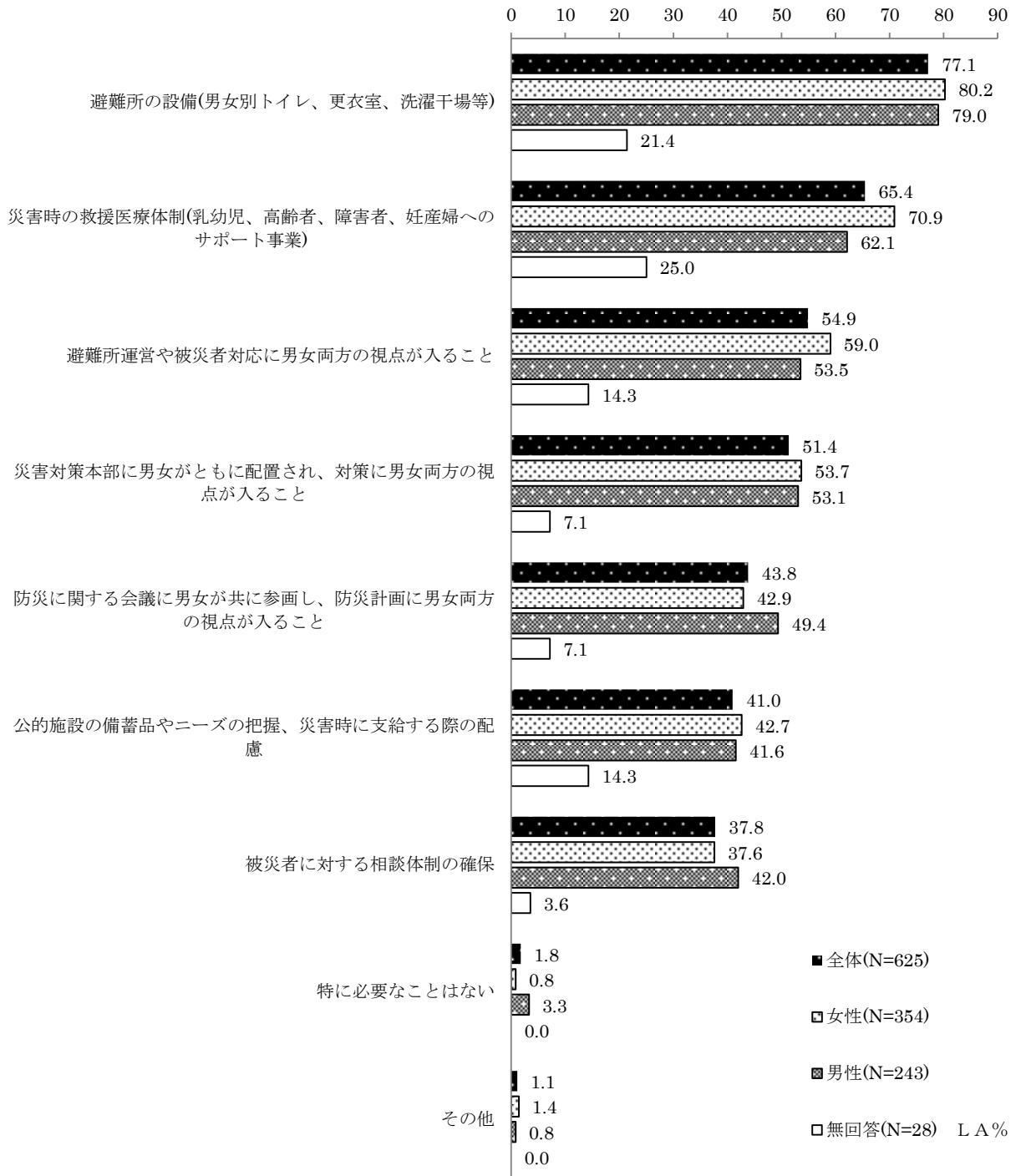
7 学校教育に関する意識

問 20 男女共同参画を推進するために、学校教育の場において、どのような取り組みが必要だと思えますか。(あてはまるもの全てに○)



8 防災対策に関する意識

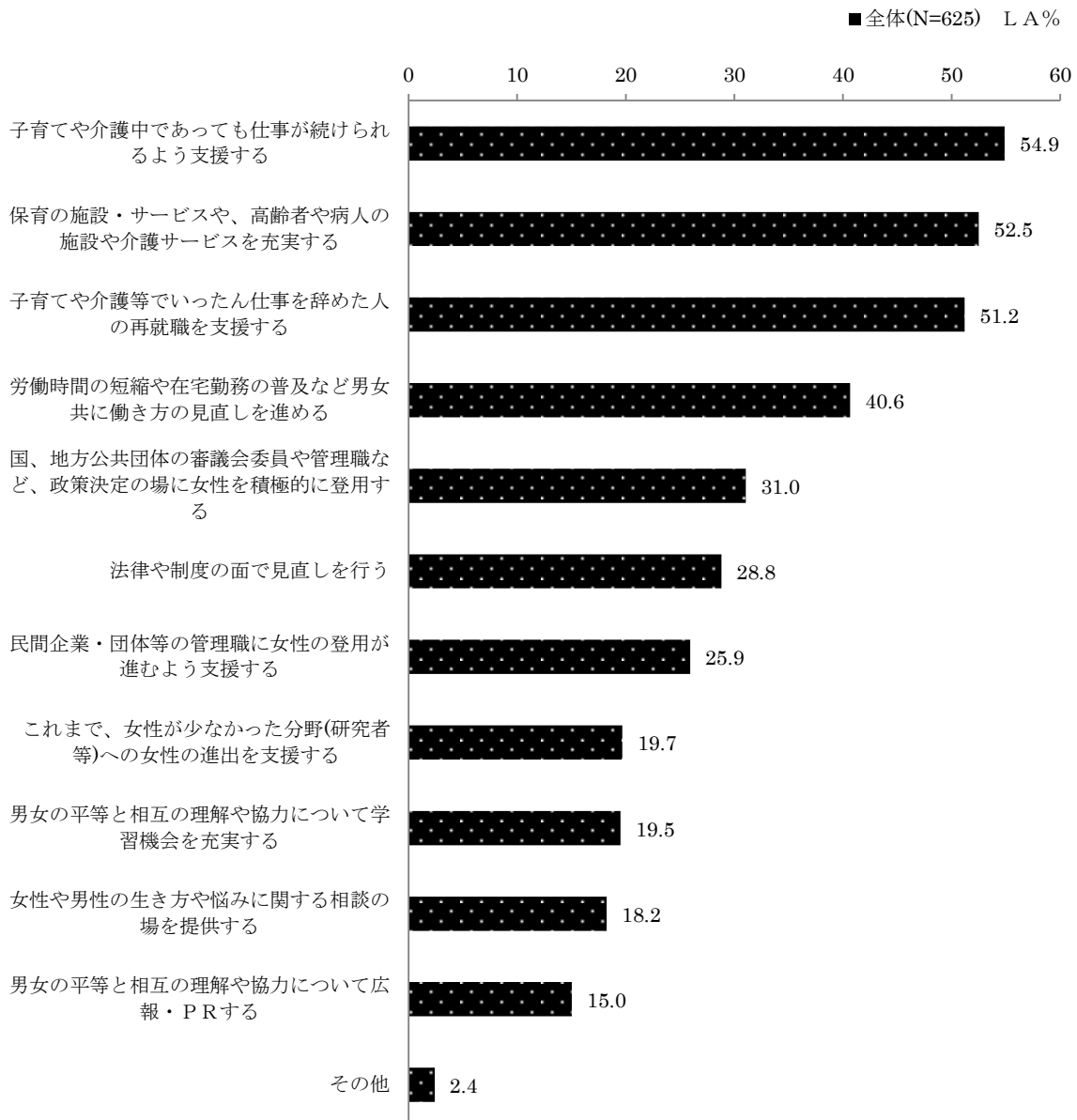
問 21 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なことは何だと思えますか。(あてはまるもの全てに○)



9 政策に関する意識

問 22 あなたは「男女共同参画社会」を実現するために、今後、どのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

(上位4項目)	(宮津市)	(国)
・子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	54.9%	59.3%
・保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	52.5%	54.2%
・子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する	51.2%	56.5%
・労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める	40.6%	45.2%



Ⅲ 「その他」項目への主な回答

問4 一般的に女性が就業することについて、あなたはどのようにお考えですか。(〇は1つだけ)

- ・個々の状況による。
- ・その人がしたいようにすればいい、個人の自由、価値観で決めるとよい。
- ・人それぞれの考え方があるので、家族で決めたらよい。職場によると思う。
- ・女性が就業できる条件を整えた上で、家庭や個人の現状を踏まえ個人が決める問題である。
- ・子どもができて就業できる環境が整っていれば、継続して就業すればよいと思う。

問5 女性が就業する上で、妨げになると思われることは何ですか。(〇は3つまで)

- ・保育施設に預けても、16時に迎えに行ける仕事はパートぐらいであり、現代社会にそぐわない保育時間である。
- ・残業の時や子どもの病気時に、保育者がいない。急な一時預かりの受入先がない。
- ・企業(主に経営者)の意識が旧態である。
- ・家庭によって事情が違うので何とも言えない。

問6 企業や行政などの職場では、まだまだ女性の管理職の比率が低い状況にありますが、これについてあなたはどのようにお考えですか。(〇は1つだけ)

- ・能力のある人が管理職になればよい。比率を考えて登用するのはおかしい。
- ・管理職になりたい女性が少ないのではないか。
- ・適性があっても本人の意志や家庭の事情等は考慮すべき。

問7 企業や行政などの職場において、女性がさらに責任ある職務に就くためには、どうするのがよいと思いますか。(〇は1つだけ)

- ・企業や行政、社会全体での意識改革を進める。
- ・労働環境条件の整備が必要。
- ・男女ともに教育や研修機会を設ける。
- ・責任ある職務に就きたい女性の意見に耳を傾ける。
- ・性別が仕事内容に影響しない(関係しない)のであれば、”男女”という考え方をする必要がないと思う。

問9 将来、家族の育児や介護が必要となった状態で、継続して就業したいと思いますか。現在、育児や介護中の方は、現在の希望をお答えください。(〇は1つだけ)

- ・育児や介護の程度による。
- ・働かないと育児も介護もできない。
- ・経済的な余裕があるのなら育児に専念したいですが、それでは、生活していくことができない。
- ・自営業であり、従業員に対しても社会的責任を感じるから。
- ・現在介護中で、家族や福祉サービスにお世話になりながら就業中。しかし、いつまで仕事を続けられるかわかりません。

問10 男女がともに働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに〇)

- ・育児や介護などを家族がやらなければならないという考え方を捨て、サービス業者を活用する。
- ・保育所、放課後児童クラブ、介護サービスの利用料金の引き下げ。何のために働くのかわからない。
- ・賃金の引き上げ。
- ・地域で子どもを育てたり、職場で子どもの面倒をみるところを用意する。
- ・家庭内(身内)のフォロー。
- ・各人の希望に添って相談できる公的機関を整備する。
- ・労働時間が男女ともに長すぎる。労働基準法をしっかりと適用する。

問11 あなたは、現在、どのような社会活動に参加されていますか。(あてはまるもの全てに〇)

- ・お寺の関係

問12 あなたが主に参加している社会活動において、問題に感じていることはありますか。(あてはまるもの全てに〇)

- ・特定の人への負担が大きい。
- ・若者への負担が増えている。
- ・女性がいらない。
- ・女性は半人前という扱い。
- ・女性自身が役割を敬遠する。
- ・体力的に女性に困難なものがある。

問 13 あなたの現実(現状)に最も近いものをこの中から 1 つだけお答えください。

- ・ 学業や学校生活を優先している。
- ・ 研究。
- ・ 無職。

問 14 あなたの希望に最も近いものをこの中から 1 つだけお答えください。

- ・ 勉強と部活の両立。
- ・ 学業と個人生活の両立。
- ・ どんな事を出来るか思索中。
- ・ 特になし。

問 15 今後、男性が家事や子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- ・ 小さい頃から家庭、学校等で教育する。
- ・ 女性も積極的に地域活動に参加する事が必要。
- ・ 男の子にも小さい時から子育て、介護、地域活動に参加する意義を伝える。
- ・ 男女に限らず個々のパーソナリティや能力などお互いに理解し認め合うこと。
- ・ 賃金アップ。
- ・ 男性は、女性や年下、世間に「助けて」と声を出せない。改善策はすべて試してみればよい。
- ・ 地域活動が多すぎるので減らすべきだと思う。

問 17 あなたは配偶者や親しい異性(恋人等)から次のような暴力的な行為(DV)を受けたり、見聞きしたりしたことがありますか。(あてはまるもの全てに○)

- ・ 物にあたり、大切にしていたものを傷付けられた。

問 19 相談しなかったのは、なぜですか。(あてはまるもの全てに○)

- ・ すぐ嫌になって別れたので、特に問題はなかった。
- ・ 相手と喧嘩した時に暴力を受けるので仲直りすれば収まる。

問 20 男女共同参画を推進するために、学校教育の場において、どのような取り組みが必要だと思えますか。(あてはまるもの全てに○)

- ・能力がある人を男女関係なく配置すればよい。
- ・学校教育では行われている。むしろ、地域社会、企業などで実質的な推進が必要。

問 21 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なことは何だと思えますか。(あてはまるもの全てに○)

- ・避難所の設備に授乳室の個室化も含めてほしい。(授乳中の覗きがあると聞いたことがあるため)
- ・物資面以外は、性別はあまり関係ないのでは。「安全・安心」は男女とも同じ。

問 22 あなたは「男女共同参画社会」を実現するために、今後、どのようなことに力を入れて取り組むべきだと思えますか。(あてはまるもの全てに○)

- ・各自治体単位での取組の積み重ね。
- ・地域での風習や考え方を改める。
- ・個人の能力と希望を尊重すべき。
- ・年配者の理解や協力を得られるよう努める。
- ・公的機関の保有するビッグデータ等の活用の推進。

IV 自由回答（抜粋）

（1）男女共同参画社会について

- ・男性でも女性でもそれぞれ一人ひとりがお互いの特性を理解・尊重し合える社会になれば良いと思います。幼少の頃から自然と身に付く環境が必要だと思います。家庭・学校・地域で連携して環境づくりをしていけば良い社会になると思います。
- ・法律や評価制度を整備するだけでなく、実践的な事例を増やしていくこと。継続的にそれが取り組まれて、社会に定着していくような運動にまでつなげることが大事ではないだろうかと思う。
- ・男女の平等は人間である限り絶対不可欠。しかし、現実には厳しく、男女の身体的な違いがあり、すべてが平等にはいかない。しかし、制度等や国民一人ひとりの意識を男女平等にしないと、男女共同参画社会は実現しないと思う。
- ・男女共同参画社会を実現させるためには、男性は女性の、女性は男性への見方を変える必要があると思います。
- ・社会において、女性枠を無理矢理作るのではなく、男女平等に能力のある人を評価すれば良いと思う。無理に女性枠を作ると、能力の低い女性が能力の高い男性を上回る間違った評価をする事になると思う。男尊女卑は論外だが、女性に有利な社会を作ろうとすることも、間違っていると思う。勘違いしない冷静さも必要です。
- ・女性の社会への参画はまさに民主主義の試金石となるものです。しかし、真の意味で女性が頑張れる社会とは決して男性を置き去りにする社会ではありません。女性も男性も個人として尊厳が保たれる社会でなければなりません。そのためには非正規労働者や生涯派遣、残業代ゼロなど勤労者全体をとりまく諸問題の中で正しく位置づけられる必要があります。
- ・女性の意識・意欲の向上や女性の頑張りに対する社会の理解を高めるため、できることから少しずつやっていく。
- ・参画のおしつけはやめた方がよいです。参画したい方が、したい分だけ担う事から始められたら良いと思います。
- ・男しかできない「相撲」が国技であり、女は土俵にも上がれない。女しか子供を産めないのに、男も助産師になれる。まだ、女は見下された存在だと思えることが多いです。男女平等の教育を受けてきたけど、社会に出てみると、実際は、そうじゃないと思えることがあります。年配の方（特に男性）で「女は四年生大学に行かなくてよい」と言っている人が今でもいてびっくりします。こういう方の意識をまず変えていかないと、もう変わらないならこれ以上こういう考えの人が増えないような意識の改革を。女は子供を産めと言われる。社会でも活躍しろと言われる。正直しんどいと思います。差別ではなく区別は必要だと思います。

(2) 仕事・就業について

- ・女性は妊娠・出産の事を考えると、仕事との両立に悩む機会（場面）が多々あります。自分の望む仕事に就いていても、仕事に打ち込むと妊娠・出産から遠のく気がする。妊娠・出産は限られた時間の中でのことだし、仕事をしてのキャリアを積む時間と妊娠・出産にあてる時間は人生の中で同時間であることが多い。男女共同参画といっても、性としての役割が違うので、男性には気持ちを理解してもらいにくい。仕事をとるか、妊娠・出産をとるかという悩みを持っている女性の立場をもう少し理解してほしい。仕事の場での女性の立場があがると、責任が増え、ますます妊娠・出産から遠のいてしまう可能性が増える女性もいるのではないかと感じてしまう。
- ・女性の労働力率が30代以降ほとんど上昇していない現状を打開するため、結婚や出産後等において、就業意欲のある女性の再就職への支援は重要である。
- ・やはり男女は体力的に違います。体力が必要な仕事で男女同じ事は無理です。自分に合った仕事を選び、男性だから女性だからと初めから偏見を持たず協力し合うことが大事だと思います。
- ・私の今の職場もそうですが、この仕事は男性向きといったことをよく聞くので、もっと女性が働きやすい、のびのびと仕事ができる社会になってほしいと思います。
- ・前職場でも、男女の不平等は全く感じなかったもので、問題視したことはなかったが、子育て後に再就職は難しいと思う。以前のように仕事に時間をかけられないので当然な上、能力も低下しているので仕方ないと思う。少子化を防ぎたい、女性の就労を増やしたいなら、パートの賃金に子ども手当を付ける等、早く働きたいと思わせる工夫はありだと思ふ。
- ・現役時代の会社は、外部相談制度を設けたり、女性の積極的な活用等、企業間ではよく知られた会社でした。私も採用面接等で男女差別をした事はなく、能力のある人を採用してきました。男女共同参画のためには、賃金の男女格差を無くす必要（責任、仕事の同一性の上で）があると思います。
- ・社会へ出る時、男女共に、事務職・専門職を選べるようにする事だと思います。大事なことは能力があり、意欲のある社員、職員には機会を与えることです。
- ・管理職などは本当に優秀な人材を採用したらいいと思う。性別関係なく、結果的に比率がどちらかに偏っても、それは不平等ではないと思う。わざわざ女性を採用することこそ差別だと思う。
- ・女性を無理矢理平等扱いするような就業形態はよくないと思います。働きたい方より生活のために働かなければならない女性の方が多いと考えます。平等だからと毎日10時間以上働かされ、実績を上げなければ残業もつかないのが現状です。
- ・すべての職種において、労働条件の整備、労働時間の短縮が必要。生活に余裕がなければ、どこかにしわよせがくる。共同参画社会は夢のまた夢の世界と思える。もっと根本的なところへのでこ入れをお願いしたい。
- ・労働条件を整備し、公的機関による監視体制を厳しくする。ブラック企業の徹底排除。
- ・私が以前、勤務していた会社で、女性の育休制度が出来た際に役職級の女性数人で就業規定を作りました。「みんなで分担するから、産みたい時に子供を育てよう」と伝えましたが、結果的には寿退社(結婚退社)が妊娠・出産まで進化しただけでした。その後、上司にかわいがられてい

たある女子社員が結婚招待状を渡した翌日から仕事を回してもらえなくなり、間もなく退社したと聞かされました。パワハラです。そして職場の誰も助けてはやらなかった。「大変な時もあるが、仕事はなるべく続けた方が確実に昇給するしキャリアも積み上がる」と個別には折あるごとに話したが、「女性の地位は自分たちで努力して勝ち取れ」とは教えられなかった。「楽しく働くための」女性になれとは教えられなかった悔いが残ります。同性としては口惜しいです。

- ・男女共に生活（労働）に密着しているのは、やはり「企業」だと思う。公共としてできることはやればよいが、限界はある。企業を通して支援するのが現実的だが、企業とは常に利益を出し続けなければ存続できないため、産休・育休・介護休暇等に関し、従業員に対して経費（人件費等）を出したくても出せない現状がある。例えば産休等を取得する場合、人員補充のための人件費を国や自治体が企業の肩代わりをしてはどうか。こうした類の支援を企業に提示すべき。あと、公的にできることがあるとすれば、保育料を無償化して充実させること。

(3) 地域活動について

- ・地域社会の慣習の中に、一番男女差別を感じる。
- ・あくまでも本人の意思を尊重する必要があるが、地域の自治会長といった比較的女性の数が少ない役職から意識的に増やしていくべきだと思う。そこから広がっていく気がする。

(4) 家庭生活等について

- ・大事なことは結婚して、何人の子供が出来ても、社会がどのように支え、安心して子育て、社会復帰できるようにすることだと思います。
- ・現在子育て中。仕事もしています。後に親と同居になると思います。子育てしながらの仕事は大変ですが、子供を保育園に預けられるので助かっています。家庭では休む時間がないので、夫にもっと家事を手伝ってほしいと思う事も度々。でも、子供をかわいがってくれるので満足はしています。この先親と同居。まだ元気なので、介護の心配はないのですが、もし介護が必要になれば仕事できるか心配です。できれば、仕事は続けていきたいと思っています。
- ・男女平等といってもまだまだ男社会だと思います。女は子供を産む、育てる。それは必要で男の人には出来ないことだが、それにより能力のある人が活躍できないのは本当に不平等だと思います。子供を産んでも生活に困らず安心して働ける場所があれば、どんなに良いか…そんな社会になれば、女の人はずっと子供を産むし、社会ともつながりを持って景気もなくなり、個々の生活も潤うと思います。
- ・私は子供が年長組（保育所・園）になるくらいまでは母親、父親が家に居てやってほしいと思っています。親がギュッと抱きしめて大きくなれば、青少年の犯罪などがもう少し少なくなるのではないかと思います。
- ・男性が家事や子育てをする。まだまだ年配者の方達には受け入れてもらえない部分もあり大変だと思います。特に田舎はそういう事に対して、なかなか理解が得られないようです。若い人達は苦勞していると思います。やはり、PRは必要だと思います。

- ・核家族化における高齢者の介護施策の充実が必要と考えます。
- ・常勤で仕事をしていても子育て・介護と両立できる行政のサポート。①介護→デイサービス等の時間の延長 ②子育て→学童保育や送迎等の延長（エリア拡大）
- ・私ぐらいの年代の人は、結婚生活にしても子供を育てるにしてもまだまだ男の人は台所に男は入ったらダメというような育て方をされた相手だった方が多かった時代なので、洗濯や炊事は全部女がやりました。子供の相手はしてくれ面倒は見てくれましたが、今は二人で協力してやっついていかないと女ばかりがしんどい目をしなくてはならないので大変だと思います。
- ・男女共同参画社会の実施のためには、核家族の子供の保育のあり方を見直して頂かないと、仕事もできない状況、収入もない状況で、現在私も過ごしております。このような方は、もっとたくさんおられると思うので、病気や障害でどうしても保育園に入園できない子の保育やサービスの充実を先に作って欲しいと願います。
- ・体のつくりが違うので、平等にというのは難しいと思います。女性が妊娠・出産（子育て）をする、また、月経がある時点で不利だと思います。（自分は常にそう思っています。）それもふまえて、男女が気持ち良く働ける社会になると良いです。また、家庭に入って、家事・育児をしてお給料をもらえる訳でもなく、毎日毎日満たされない気持ちになります。働いている方は、家事等の負担が減る訳でもなく、生きていくのはなかなか大変だなと感じます。一人親で育てている方、本当に尊敬します。男性、女性とも関係なくその人その人の良い所を活かした働きが出来ると良いと思います。
- ・社会だけでなく育児や介護をしている人が息抜きが出来るような制度（例：自分の時間が少しでも取れるように外部の人の力を借りて作れる趣味等）、預かり制度、介護が必要な家族を看てくれる制度があれば仕事も育児も介護もしながら社会に意欲的になじめると思う。育児や介護の女性は我慢することが当たり前のような風潮があるように感じるため、それをなくしていけるような制度があればいいなと思います。
- ・男女が平等に評価される世の中をつくっていくには、各々の家庭生活が根底にある事は否めませんが、それぞれの家庭にはそれぞれの課題もあり問題もあると思われまます。

(5) セクシュアル・ハラスメント、DVについて

- ・男性から女性へのパワハラやセクハラもありますが、私がよく見聞きするのは女性から女性へのパワハラが多いです。そして、パワハラ・セクハラと認識せずに行っている女性が多いです。
- ・今後は同性でのパワハラなどについてのアンケートや対策も取り組んで頂けると幸いです。
- ・宮津市に性同一性障害で悩んでいる人がいるのであれば悩む必要などないと思わせられるような宮津市になってほしいです。男の人であろうが女の人であろうが、その人自身が自分らしさを発揮できればそれでいいと思います。個性を伸ばすことができれば、それもいいと思います。

(6) 学校教育について

- ・学校教育は平等だと思います。
- ・子どもの数も減っているので、小学校の校舎を一つでも老人施設に改修し、給食施設を共同にしたらどうか、週に一度お年寄りと子供が触れ合っても良い。何より「学校教育」がやはり要だと思っています。
- ・将来、真の男女共同参画社会実現のためには、男の子と女の子が同じ状態で机を並べ、同じように学んでいる義務教育現場での取り組みが大切だと思われま。男女がお互い尊重し合い、支え合い、仕事をし、家庭を築き、子育てでできるそんな夢と希望が持てるよう、義務教育現場での取り組みを期待します。

(7) 政策について

- ・特に政治に関わる仕事における女性起用は大切なことだと思います。
- ・国民の生活を向上させ安定させることが、第一かと思う。
- ・人々が安心して暮らせる行政を望む。
- ・男女共同参画社会実現と言っている政治の世界で、まだまだ男尊女卑な言動が見られる。
- ・今の日本の政治についてですが、私達 10 代から見ても女性と男性とでは差別的だと思っています。男女共同参画社会に近づくためには、まず、男女の枠を捨てる事が重要だと考えられます。政治のテレビ放送などを観ていても、議員同士で足を引っ張り合っている所ばかりが映っています。正直言うと本当に情けないとも思っています。お金の管理も男性と女性、どちらにも任せの方がいいと思います。両方の視点から見ることができれば、今のようにお金の無駄遣いはなくなる。もしくは少なくなると、思うからです。どんなに難しい言葉に言い換える事ができても「差別されている」というのはわかります。だからまずは、男女の枠を取り払い、政治の場面でも生活のいたる場面でも女性が活躍できる所を作る事が望む社会の第一歩だと私は考えます。足を引っ張り合うだけでは社会は変わらないと考えます。
- ・政治でも女性の活躍がみられるように、宮津市においても女性の活用を推進していただきたい。
- ・何をどう言っても、やはり、性差はあると思う。たとえ、社会がどんなに変化していったところで子どもは、女性にしか産む事ができない。男女が共に社会で活躍するのも良い事であるけれども、もっともっと大きな視野で考えれば生きていく力、命をつなげる事をもっと大切に考える社会になってほしい。高校を卒業し 90%以上が出てしまう宮津ではなく、ここで生きていきたいと思える宮津になってほしい。
- ・宮津市には女性が集う場所（女性会館）がない。小さくても女性が使える会館を建てて欲しい。そこに男女参画のチラシなど置き、意識を高める。希望者が申請すれば会合をもてるようにする。

(8) アンケートについて

- ・調査だけで終わらず、結果を活かして施策を実現してほしい。どう活かされたか、結果を知りたい。
- ・一人暮らしで80歳の高齢のため、質問が難しかったです。(答えにくいものがありました。)アンケートの対象者を絞られたらと思いました。
- ・用語説明は大変有意義でした。